

# CPCレポート

## ～急性心筋梗塞疑いの一例～

Case report of acute myocardial infarction

奥田 謙一<sup>1)</sup>  
Kenichi Okuda

花田 太郎<sup>2)</sup>  
Tarou Hanada

岩本 宏之<sup>3)</sup>  
Hiroyuki Iwamoto

### A274剖検報告書

臨床科 美咲花田病院  
担当医 花田太郎, 奥田謙一  
氏名 滝田コノ段 年齢 73歳 性別 女性  
住所 美咲市  
死亡日時 平成23年3月22日11時00分  
解剖年月日 平成23年3月22日14時10分 死後三時間で解剖  
剖検番号 A-268 執刀医 岩本宏之 助手 仁木 福江 記録 奥田  
臨床診断 急性心筋梗塞疑い  
病理組織学的診断  
主病変  
1. 解離性大動脈瘤破裂による急性心タンポナーデ(血性400mL)  
副病変  
1. 肺臓器のうっ血  
死因: 解離性大動脈瘤破裂による急性心タンポナーデ(血性400mL)による。  
2012年2月16日 病理診断科 岩本宏之

### 大動脈解離の分類

Anatomy and Classification of Aortic Dissection

### 大動脈解離(aortic dissection)の定義

- 大動脈壁が中膜のレベルで二層に剥離し、動脈走行に沿ってある長さを持ち二腔になった状態で大動脈壁内に血流もしくは血腫が存在する動的な病態である。

大動脈瘤・大動脈解離症診療ガイドライン(2006年改訂版)

### 大動脈解離のもう一つの分類

	偽腔開存型 Communicated	偽腔閉塞型 Thrombosed
Type		
	The true lumen and the false lumen communicated (partially thrombus +)	The false lumen is filled with clot formation (completely filled with thrombus)
Risk	High	Low

The Thrombosed Type of Aortic Dissection-Its Clinical Features and Diagnosis. *Int J Angiol* 1996;7:229-334

### 大動脈解離の疫学

Foreign country				Japan			
Year	Area	Population	Incidence (100,000/year)	Year	Area	Population	Incidence (100,000/year)
1951-1960	Minnesota (USA)	45,000	2.7	1977	Osaka	6,090,000	3.12
1972-1998	Western Hungary	106,208	2.8	1998	Mie	1,690,000	3.7
1983-1994	Minnesota (USA)	100,000	3.5	1999	Hanrinu	10,300,000	2.67
				1991-2000	Osaka	3,71,080	2.62
				1997-2005	Iwate	1,092,000	5.5

Based on reference 3-5.  
2004, 2005年度発刊予定: 大動脈瘤・大動脈解離症診療ガイドライン(2006年改訂版)

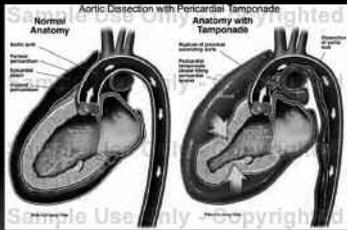
- 大動脈解離の年間発症人数は10万人あたり3人前後
- 病因到着前死亡も多く、正確な疫学は不明。

### 大動脈解離の診断・治療方針

ICUとCCU3(5): 191~200, 2011

1) 砂川市立病院 研修医  
Resident doctor, Department of Clinical Medicine, Sunagawa City Medical Center  
2) 美咲花田病院 内科  
Division of Internal Medicine, Department of Clinical Medicine, Hanada hospital  
3) 砂川市立病院 病理診断科  
Division of Pathology, Department of Clinical Medicine, Sunagawa City Medical Center

### 大動脈解離と心タンポナーデ



- ①偽腔から圧によって心膜腔に液体が滲出する。
- ②偽腔が心膜腔内に破裂する。

### 結語

- 病理解剖を行ったことで突然死の原因が、心タンポナーデを合併した急性大動脈解離であることが判明した。
- 急性大動脈解離において心タンポナーデの合併は重大な予後不良因子である。

### 考察

- A型急性大動脈解離で病院へ来る方の8~10%が心タンポナーデを合併していた。
- 大動脈解離の剖検例(1248例)の86.6%が心タンポナーデを合併していた。

急性大動脈解離に心タンポナーデを合併すると極めて予後が悪い。

### 病理解剖を行った上での推測

- 大動脈解離で血圧が低下する機序としてはいくつか考えられるが、本症例ではまず大動脈解離が起き、おそらく心タンポナーデもほぼ同時に合併し脳血流が低下したことで失神を起こした。その後、輸液負荷にて前負荷が増加したため心収縮がぎりぎり保たれたが心タンポナーデがあるため血圧は低いまま経過した。血圧低下しているにも関わらずHR60bpm程度であったのは解離による迷走神経反射によるものと考えられる。そして、2度目の背部痛の際に、再度解離が進行し心タンポナーデが急激に増悪し心肺停止となったと予想される。

### 病理解剖の結果を踏まえて経過を振り返ると

【主訴】意識消失  
 【経過】2011/3/22、午前8時頃、花田病院に入院中の夫の面会のため来院。  
 8:20 病棟の看護師と話している途中で突然意識消失した。sBP70mmHg,HR60bpm,SpO2測定不可であった。  
 ここで解離が発生し、同時に心タンポナーデも合併した。一時的に脳血流量が低下した。SpO2測定不可であった。

8:40 頭部CT、胸部Xp施行。  
 10:00 意識レベルは会話が可能な状態まで一時的に回復した。sBP70mmHg台。  
 10:30 突然背部痛が出現。唸り声をあげて再度意識消失し、間もなく心肺停止。心肺生行うも、asystoleが続いた。  
 11:08 死亡診断。家族の希望により病理解剖となった。

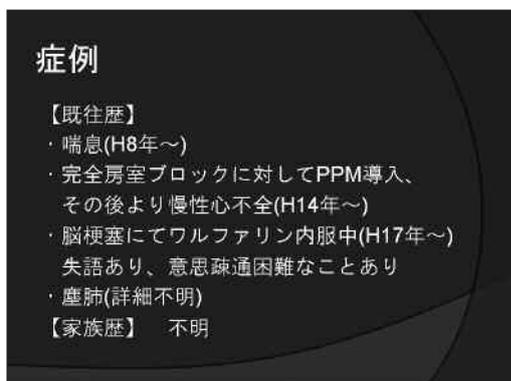
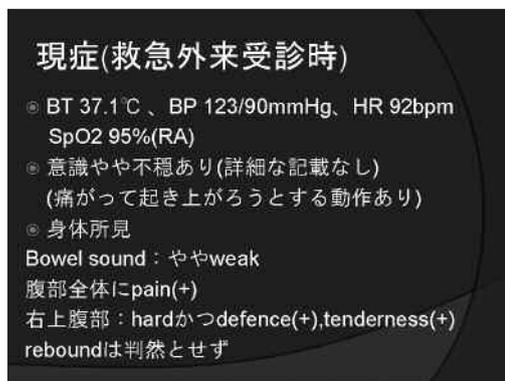
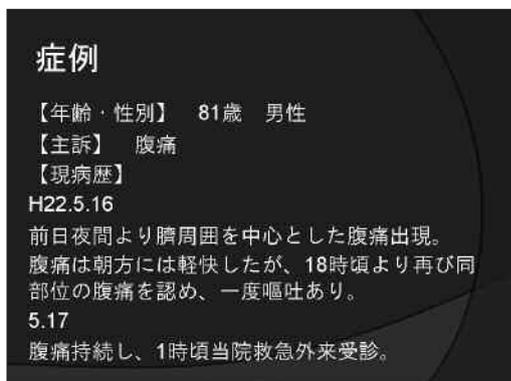
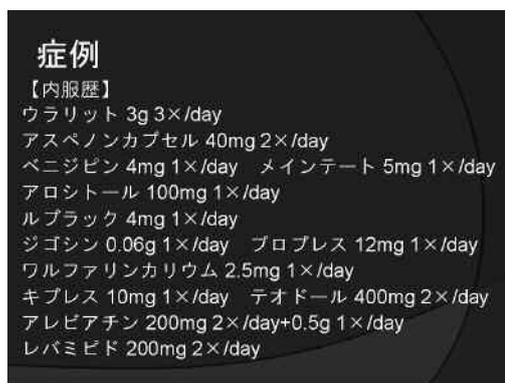
# CPCレポート

## ～急性壊疽性胆嚢炎の一例～

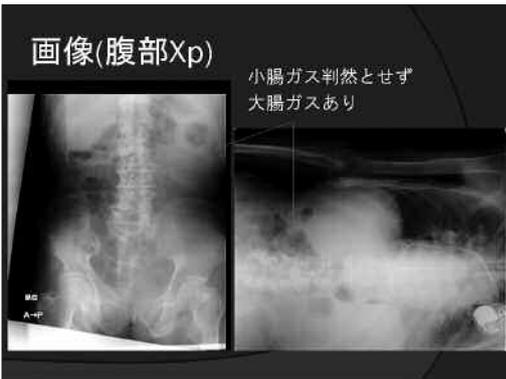
Case report of Acute cholecystitis

坂本 譲<sup>1)</sup>  
Yuzuru Sakamoto

岩本 宏之<sup>2)</sup>  
Hiroyuki Iwamoto

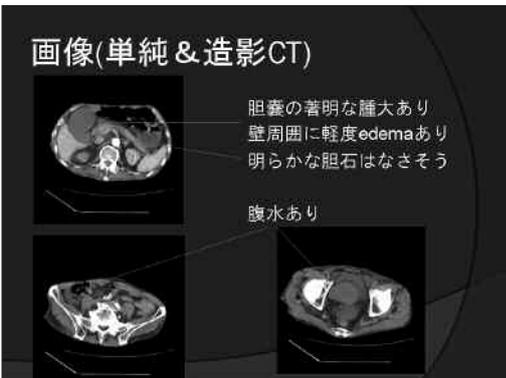


1) 砂川市立病院 研修医  
Resident doctor, Department of Clinical Medicine, Sunagawa City Medical Center  
2) 砂川市立病院 病理診断科  
Division of Pathology, Department of Clinical Medicine, Sunagawa City Medical Center



### 入院後経過

5/17  
当科入院後、鎮痛薬にて腹痛改善。圧痛も消失。  
採血にて、T-bil 2.94 GOT/GPT 558/314  
GGT/ALP 348/922と肝胆道系酵素の上昇を認め、  
総胆管結石疑いにて、ERCP/EST施行目的に内科  
受診。  
5/18  
ERCP試みるも、Vater乳頭部の浮腫著明でカニュー  
レーション出来ず。  
EST施行し、胆泥混じりの胆汁排泄あり。



### 入院後経過

5/21  
T-bil 12.13まで上昇あり、改善見られないため外  
科手術施行(胆摘、胆管切開、T tube挿入)。  
T tubeからは淡黄色の胆汁が排泄。GOT/GPT及び  
GGT/ALPの改善見られるものの、T-bilの上昇は治  
まらず。慢性腎不全も増悪。  
5/25  
呼吸状態悪化し尿量も減少。T-bilは20台まで上昇。  
多臓器不全のために17:50死亡確認。  
御家族より、今後の治療に役立ててもらえればと  
のことで、病理解剖を行うこととなった。

### 画像所見(CXp・腹部エコー)

【CXp(臥位)】  
CTR 62.5%  
CPA 両側ほぼsharp  
両側肺野全体にびまん性の透過性低下あり

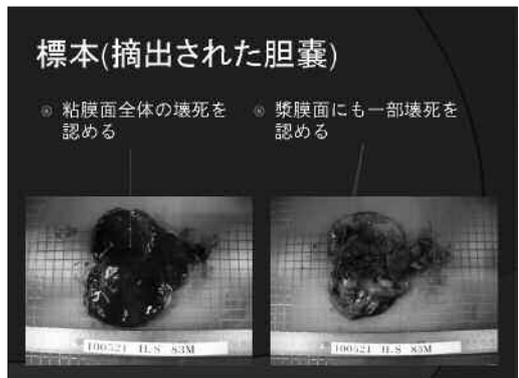
【腹部エコー】  
胆嚢の著明な腫大と胆嚢壁の肥厚あり  
胆嚢頸部に胆石あり 胆泥も認める

### 手術所見

【術後診断】 急性壊疽性胆嚢炎  
【術式】  
胆嚢摘出術 胆管切開切石術 T tube留置  
【術中所見】  
黄色の腹水著明(1500mL)  
胆嚢粘膜面は壊死しており、一部漿膜面に達する  
総胆管の狭窄は著明でありブジーは出来ないが、  
拡張はなし  
閉塞を認めるような総胆管結石は認めず

### 外科コンサルト後

診断：急性胆嚢炎  
治療方針：  
PTGBDによる治療は息止めが出来ない(意思疎通  
困難)ため厳しく、腹部所見も強いことから保存的  
治療は無理。  
様々な既往歴を考慮すると胆摘もhigh riskと考  
えられるが、ワーファリン拮抗(ケイツー 20mg i.v.と  
FFP 2U div.施行)後手術施行予定として当科入院と  
なった。



### 病理所見(摘出された胆嚢)

胆嚢粘膜上皮は消失  
全層性の壊死、炎症、肉芽反応あり  
漿膜側に線維化あり、漿膜下に胆汁あり  
胆汁による急性腹膜炎に矛盾しないが、  
原因は不明  
no malignancy

### 定義及び病態(急性胆嚢炎)

- ◎ 浮腫性胆嚢炎；1期（2～4日）  
毛細血管・リンパ管の鬱滞・拡張を主体とする胆嚢炎。  
胆嚢組織は温存。
- ◎ 壊疽性胆嚢炎；2期（3～5日）  
浮腫性変化の後に組織の壊死出血が起こった胆嚢炎。  
動脈分枝の血行が停止して、組織の壊死が発生。
- ◎ 化膿性胆嚢炎；3期（7～10日）  
壊死組織に白血球が浸潤し化膿が始まった胆嚢炎。  
炎症に伴う繊維性増生のため壁は再度肥厚性となる。
- ◎ 慢性胆嚢炎  
胆嚢炎の穏やかな発作の繰り返しで生じ、  
粘膜の萎縮、胆嚢壁の線維化が特徴。

### 考察

## 急性胆嚢炎 & 急性胆管炎

### 急性胆嚢炎の重篤化

- ◎ 壊疽性胆嚢炎(7.1%)
- ◎ 化膿性胆嚢炎(6.3%)
- ◎ 穿孔(3.3%)
- ◎ 気腫性胆嚢炎(0.5%) など

☆上記の危険因子としては、  
男性、高齢、合併症、38℃以上の発熱、  
白血球数18,000以上 など

### 診断基準(急性胆嚢炎)

- A. 右季肋部痛（心窩部痛）、圧痛、筋性防御、Murphy sign
- B. 発熱、白血球数またはCRPの上昇
- C. 急性胆嚢炎の特徴的画像検査所見

疑診：Aのいずれか並びにBのいずれかを認めるもの  
確診：上記疑診に加え、Cを確認したもの

ただし、急性肝炎や他の急性腹症、慢性胆嚢炎が除外できるものとする

### 診断基準(急性胆管炎)

- ◎ A.
    - 1.発熱\*
    - 2.腹痛（右季肋部または上腹部）
    - 3.黄疸
  - ◎ B.
    - 4.ALP,  $\gamma$ -GTPの上昇
    - 5.白血球数, GRPの上昇
    - 6.画像所見（胆管拡張, 狭窄, 結石）
- 疑診：Aのいずれか+Bの2項目を満たすもの  
確診：(1) Aのすべてを満たすもの（Charcot3徴）  
(2) Aのいずれか+Bのすべてを満たすもの

### 特徴的画像検査所見(胆嚢炎)

- ◎ 超音波検査：  
sonographic Murphy sign, 胆嚢壁肥厚（>4mm）、  
胆嚢腫大（長軸径>8cm, 短軸径>4cm）、  
嵌頓した胆嚢結石、デブリエコー、胆嚢周囲液体貯留、  
不整な多層構造を呈する低エコー帯、など。
- ◎ CT：胆嚢壁肥厚、胆嚢周囲液体貯留、胆嚢腫大、  
胆嚢周囲脂肪織内の線状高吸収域、など。
- ◎ MRI：胆嚢結石、胆嚢腫大、胆嚢壁肥厚、など。
- ◎ 胆道シンチグラフィー：  
（本邦ではあまり用いられていない）

### 急性胆管炎発症の原因

1. 胆道閉塞
2. 胆汁中の細菌増殖(胆汁感染)

胆石 良性狭窄 先天性 膵炎 寄生虫の迷入  
術後（胆管損傷、総胆管空腸吻合の狭窄など）  
悪性閉塞（胆管、胆嚢、乳頭、膵臓、十二指腸腫瘍）  
外的圧迫 乳頭の線維化 十二指腸憩室 血塊（血性胆汁） 医原性 など

### 急性胆管炎患者の死因と死亡率

#### 【死因】

大半が非可逆性のショックによる  
多臓器不全

#### 【死亡率】

(これまで2.5%～65%と報告)

1980年以前は57～65%

1980年以後でも2.5～27.7%

### 結語

- ◎急性胆嚢炎を契機として二次性の胆管炎を生じ、急速に全身性の炎症が進行した1例を経験した。
- ◎急速に進行する病態に加えて、多数の既往や全身状態の悪い患者における、手術適応の決定と手術施行のタイミングの難しさを実感した。

# CPCレポート

## 腹膜偽粘液種の1例

Case report of Mucus species pseudomyxoma peritonei

丸山 啓介<sup>1)</sup>  
Keisuke Maruyama

岩本 宏之<sup>2)</sup>  
Hiroyuki Iwamoto

### 腹膜偽粘液種の1例

砂川市立病院 研修医 丸山啓介

胸部Xp



**[症例]**67歳女性

**[主訴]**咳嗽、腹部膨満、腹囲の増加

**[現病歴]**糖尿病、喘息で近医通院中であったが、H21年11月ごろより夜間の咳嗽の増強と、腹部膨満と腹囲の増加がみられた。胸部Xpで両肺の多発性の結節影を認め、CEA高値もあったため、同年12月9日内科外来へ紹介受診となった。

**特記すべき採血結果**

WBC 8200 Hb 13.7 Plt 21.7 CRP 4.5

CEA 771.9  
CA19-9 38.22

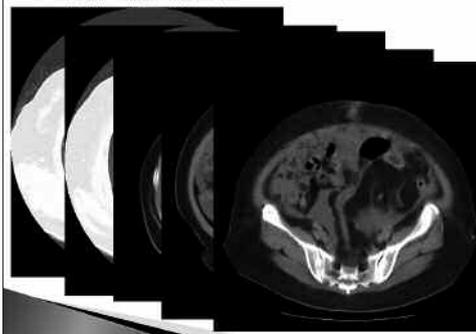
HbA1c 6.3%

**[既往歴]**糖尿病、高血圧、気管支喘息

**[薬剤歴]**

ブホルミン(50)3T  
ボグリボース(0.2)3T  
グリベンクラミド(2.5)2T  
クレンブテロール(20)2T  
برانルカスト(225)1T

CT(胸部～骨盤部まで)



1) 砂川市立病院 研修医  
Resident doctor, Department of Clinical Medicine, Sunagawa City Medical Center

2) 砂川市立病院 病理診断科  
Division of Pathology, Department of Clinical Medicine, Sunagawa City Medical Center



### 臨床上の疑問点

- ①腹膜偽粘液種と診断されたが、原発はどこなのか。
- ②肺の転移病変は乳がんによるものなのか、それとも腹膜偽粘液種によるものなのか。
- ③最終的な死因は何か。

### 入院後の経過

H21年12月9日  
左乳がん、多発肺転移+腹水貯留で入院となった。また同日、細胞診と腹水ドレナージ目的に腹腔にCVカテを設置した。

一細胞診でPsuedomyxomaの所見

12月10日  
左乳房腫瘍に対してCNB施行した。

一組織診でInvasive ductal carcinomaの所見

### 考察 腹膜偽粘液種について

- ◇腹膜偽粘液腫は、腹膜表面や大網上にムチンが播種し、同時に大量の粘液様物質が腹腔内に充満した特異な病態である。
- ◇粘液産生能を持つlow grade malignancyの腫瘍細胞における腹膜播種性変化の1亜型である。
- ◇画像診断の発達により、術前に診断することは比較的容易であるが、外科的治療を行っても以前予後不良である。

腹膜偽粘液種の原因を調べる必要があった。まず消化管精査目的に、内科受診しGF、CF施行するも異常所見なし。

さらに、女性器精査目的に、産婦人科受診し、精査するも卵巣を含めて異常所見なし。腹膜偽粘液種の原因は不明であった。

その後、(乳がんに対して)手術治療を含めたセカンドオピニオンを得るために、北海道がんセンターへ行くも、手術の適応なく化学療法の適応とのことであった。  
本人・家族と相談し当院で化学療法施行する方向になった。

### 歴史

- 1842年にRokitanskyによって第一例が報告される。
- 1884年にWerthによって卵巣原発の粘液癌に対して腹膜偽粘液腫という言葉が初めて使われる。
- 1901年にFrankelは虫垂嚢胞に関連した同様の病態を報告した。
- これ以降は、多量に細胞外ムチンを有する多様な種類の粘液産生腫瘍に対して用いられるようになった。

### その後の経過

入院を継続しながら、タキソールなどの化学療法を続けた。

経過の途中で、排尿後失神することがあり、精査したところ深部静脈血栓、肺塞栓が見つかった。下大静脈フィルター留置して、ワルファリン内服となった。

しかし、治療の効果は少なく徐々に全身状態悪化。酸素化も低下し、浮腫も強くなっていった。H22年7月21日死亡となった。

### 臨床像

- ◇100万に一人の割合で発生する極めて稀な疾患。
- ◇発生の原因はほとんどわかっていない。
- ◇腹部膨満が著明に見られるが、イレウス症状を起こすことは稀である。
- ◇良性腫瘍である。原発巣は虫垂・卵巣のことが多い。本邦の報告では虫垂が33.7%、卵巣が37.6%。
- ◇腹膜外への転移(肺、骨、脳)や肝臓、リンパ節転移を全く起こさない。

## 診断

◇腹腔穿刺でゼリー様粘液が証明されれば診断は確定する。

◇その他エコーやCT、MRIを併用して診断する。

## 結語

◇腹膜偽粘液種という比較的な稀な疾患を経験することができた。

◇しかし、治療に関してはまだはっきりとしたエビデンスがない。しかし予後は悪い。

◇今後さらなる研究が必要と考えられる。

## 治療①

(1)手術療法  
原発巣並びに肉眼上は、可能なかぎりすべての病変部を切除する debulking surgeryが基本である。  
また、虫垂は組織学的に検索するため切除すべきである。

(2)粘液溶解療法  
ゼラチン様物質を溶解させるための低分子デキストランの腹腔内投与が報告されている。  
しかし、いずれも症例報告レベルである。

## 治療②

(3)化学療法  
多くの抗癌剤が使用されている。しかし、今のところ化学療法が予後を延長させるという確実な根拠はない。

(4)腹腔内温熱化学療法  
腹腔内に加温生食水を還流させることで、腫瘍細胞を物理的に除去することと、温熱による腫瘍細胞の直接的障害にあると考えられている。

## 予後

Mayo Clinicからのまとまった報告によると、平均生存期間は5.9年。5年生存率、10年生存率はそれぞれ53%、32%とされている。

いずれにしても本症が比較的発育速度の遅い悪性腫瘍であり、罹患した多くの患者が5年以上経過して死に至らしめられる非常に予後不良な疾患である。

統計

# 中央手術室の年間集計報告（平成21～23年）

Annual report of operation theater 2009～2011

尾西 孝一  
Kouichi Onishi

平成21、22年、平成24年1月1日から12月31日の3年間に於ける中央手術室の活動状況について報告する。手術件数、定期手術・臨時手術件数、診療科件数、各診療科手術内訳（2011年（平成23年）のみ）を以下に示す。尚、この年間集計は医科点数表に基づいた手術のコスト番号によりファイルメーカープロを用いて集計した。

## 2009年（平成21年）

平成21年1月1日から12月31日までの手術患者数は3,669名であり、そのうち緊急手術患者数は610名（16.6%）であった。全身麻酔患者数は2,603名（71.0%）であった。手術患者数は加齢とともに増加し70代が最多で、1,114名、70代以上の手術患者数は1,692名であり、全体の約46.1%を占め、高齢社会を繁栄している。各科別の手術件数を以下に示す。

## 2010年（平成22年）

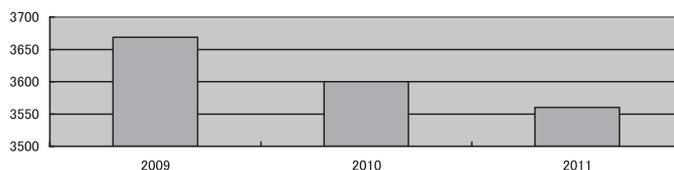
平成22年1月1日から12月31日までの手術患者数は

3,600名であり、そのうち緊急手術患者数は561名であった。全身麻酔患者数は2,503名（70.0%）であった。手術患者数は加齢とともに増加し70代が最多で、840名、70代以上の手術患者数は1,347名であり、全体の約46.8%を占め、高齢社会を繁栄している。最高年齢は103歳であった。各科別の手術件数を以下に示す。（尚、電子カルテに移行時期により緊急手術件数、患者年齢は、平成22年1月～10月 2,876名データのより）

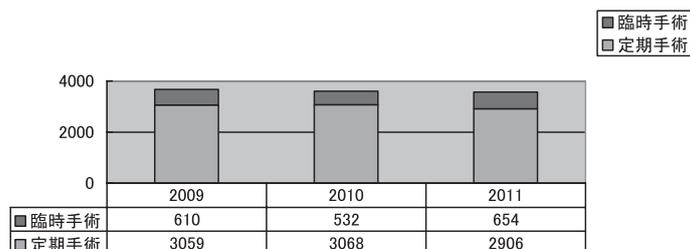
## 2011年（平成23年）

平成23年1月1日から12月31日までの手術患者数は3,560名であり、そのうち緊急手術患者数は654名（18.4%）であった。全身麻酔患者数は2,534名（71.2%）であった。手術患者数は加齢とともに増加し70代が最多で、1,048名、70代以上の手術患者数は1,664名であり、全体の約46.7%を占め、高齢社会を繁栄している。各科別の手術件数を以下に示す。

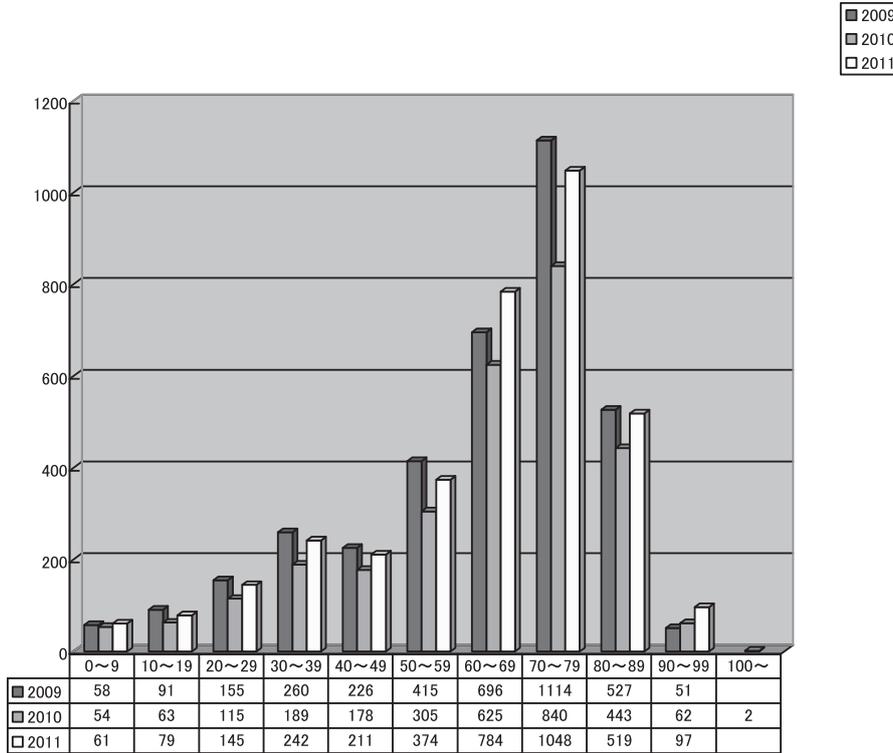
手術件数推移



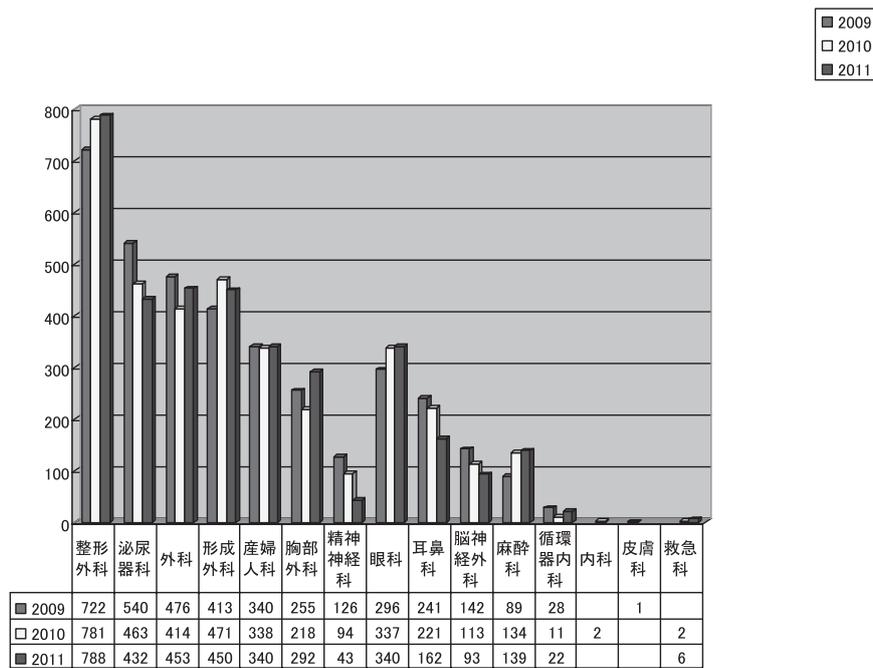
手術件数推移



手術年齢



診療科手術件数



## 整形外科

経皮的針生検法	2	関節内骨折観血の手術	
創傷処理・デブリードマン	15	上肢	7
皮下腫瘍摘出術	3	下肢	12
皮膚腫瘍摘出術	2	その他	2
腱鞘切開術	40	観血の関節授動術（肩）	3
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術	7	観血の関節固定術（手）	3
アキレス腱断裂手術	12	靭帯断裂形成手術（十字靭帯）	4
腱移行術	3	関節鏡下靭帯断裂形成手術（十字靭帯）	4
骨折非観血的整復術		関節形成手術（肩）	
鎖骨	1	肩関節	15
下腿	1	膝関節	1
骨折経皮的鋼線刺入固定術		その他	1
指	4	関節鏡下肩腱板断裂手術	39
上肢	7	人工骨頭挿入術	
下肢	2	肩	2
骨折観血の手術		股	41
上肢	88	人工関節置換術	
下肢	104	肘	3
骨盤	2	股	15
その他	7	膝	74
骨内異物（挿入物）除去術		その他	1
上肢	14	四肢切断術	
下肢	37	指	1
骨盤	2	上肢	1
脊椎	1	下肢	4
その他	5	手根管開放手術	27
骨部分切除術	1	デュプイトレン拘縮手術	4
偽関節手術（大腿）	1	外反症矯正手術	2
関節脱臼観血的整復術		脊椎	
上肢	4	椎弓切除術	2
下肢	6	椎弓形成手術	20
その他	1	椎間板摘出術（後方摘出術）	14
関節滑膜切除術		脊椎固定術（後方又は後側方固定）	10
上肢	2	神経剥離術	1
下肢	4	神経移行術	11
その他	1	C M関節固定術（母指）	1
関節鏡下関節滑膜切除術		骨搔爬術	1
上肢	5	脛骨神経ブロック	1
下肢	13		
滑液膜摘出術（指・手）	1		
関節鏡下関節鼠摘出手術（肘）	1		
関節鏡下半月板切除術	54		
半月板縫合術	1		
関節鏡下三角線維軟骨複合体切除術	1		
関節鏡下半月板縫合術	1		
ガングリオン摘出術	4		

## 泌尿器科

副腎	腹腔鏡下副腎腫瘍摘除術	3
腎臓・後腹膜		
	生体腎移植術	3
	ドナー腎摘除術	3
	自家腎移植術	1
	単純腎摘除術	4
	根治的腎摘除術(open/laparo)	11(3/8)
	腎部分切除術	2
	根治的腎尿管摘除術(open/retro)	10(6/4)
	腎盂形成術	1
	P N L	3
	腎生検	9
	腎瘻造設術	4
尿管		
	T U L	23
	尿管鏡・生検	6
膀胱		
	膀胱全摘除術	6
	回腸導管+尿道摘除術	1
	回腸導管	4
	尿管皮膚瘻	1
	T U R- B T	59
	水圧拡張術	2
	新膀胱切石術	1
	経尿道的膀胱碎石術	5
前立腺・リンパ節		
	根治的前立腺摘除術	31
	皮膜下前立腺摘除術	2
	T U R- P	44
	前立腺針生検	148
尿道・陰茎		
	環状切開術	4
	膣前壁縫縮術	6
	直視下内尿道切開術	2
	尿道腫瘍切除術	1
	尿道摘除術	1
陰囊・精巣		
	高位除辜丸	3
	除辜術	8
	精巣固定術	3
	陰囊水腫根治術	3
透析		
	腹腔鏡下C A P Dカテーテル留置術	13
	腹腔鏡下C A P Dカテーテル修復術	1
	C A P Dカテーテル抜去術	2
	P T A	22

<b>外科</b>			
創傷処理・デブリードマン	4	小腸切除術	8
皮下・皮膚腫瘍摘出術	3	腹腔鏡下小腸切除術	4
気管切開術	2	虫垂切除術	16
甲状腺部分切除術（両葉）	1	腹腔鏡下虫垂切除術	7
甲状腺悪性腫瘍手術（切除）	1	結腸切除術	
頸部郭清術（片側）	1	悪性腫瘍手術	15
乳腺腫瘍摘出術	10	結腸半側切除	4
乳腺悪性腫瘍術	28	小範囲切除	11
食道縫合術（開胸手術）	1	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	18
食道切除再建術（開腹）	1	人工肛門造設術	6
食道悪性腫瘍手術	6	人工肛門閉鎖術	5
中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置	32	直腸腫瘍摘出術（経肛門）	3
リンパ節摘出術	3	直腸切除・切断術	9
リンパ節群郭清術	5	直腸切除・切断術（低位前方切除術）	5
ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	59	腹腔鏡下直腸切除・切断術	11
ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	1	腹腔鏡下直腸切除・切断術	
ヘルニア手術（腹直筋離開）	1	低位前方切除術	3
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	2	ミリガン・モーガン手術	1
試験開腹術	5	痔核手術	2
限局性腹腔膿瘍手術		肛門周囲膿瘍切開術	2
横隔膜下膿瘍	1	肛門良性腫瘍切除術	2
虫垂周囲膿瘍	3	腹腔鏡下子宮附属器癒着剥離術（両側）	1
ダグラス窩膿瘍	1		
骨盤腹膜外膿瘍切開排膿術	1		
急性汎発性腹膜炎手術	13		
腸間膜損傷手術	1		
後腹膜腫瘍摘出術	1		
腸間膜腫瘍摘出術	1		
腹腔鏡下胃局所切除術	1		
胃切除術	8		
腹腔鏡下胃切除術	12		
噴門側胃切除術	1		
胃全摘出術	13		
腹腔鏡胃全摘出術	1		
腹腔鏡下胃全摘術	2		
胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）	4		
胆嚢摘出術	15		
腹腔鏡下胆嚢摘除術	49		
胆嚢悪性腫瘍手術	3		
肝切除術（部分切除）	7		
肝切除術（葉切除）	1		
膵体尾部腫瘍切除術	1		
腸閉塞症手術			
小腸切除	2		
腸管癒着症	5		
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	5		

**形成外科**

創傷処理	3
小児創傷処理	5
皮膚切開	2
デブリードマン	26
皮下血管腫摘出術（露出部）	3
皮膚血管腫摘出術（露出部）	6
皮下血管腫摘出術（露出部以外）	1
皮下腫瘍摘出術（露出部）	38
皮膚腫瘍摘出術（露出部）	122
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）	18
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）	61
皮膚悪性腫瘍切除術	20
腋臭症手術	4
瘢痕拘縮形成手術	2
顔面神経麻痺形成手術	1
全層植皮術	16
皮弁作成術	3
筋（皮）弁術	10
動脈（皮）弁術	7
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術	40
骨内異物（挿入物）除去術	1
骨腫瘍切除術	2
四肢切断術	4
四肢関節離断術	2
陥入爪手術	12
手掌異物摘出術	3
合指症手術	4
頭蓋骨腫瘍摘出術	1
頭皮悪性腫瘍手術	3
眼瞼結膜腫瘍手術	1
眼瞼内反症手術	2
眼瞼下垂症手術	17
眼窩内異物除去術	1
眼窩内腫瘍摘出術	2
副耳（介）切除術	1
耳介腫瘍摘出術	9
耳介悪性腫瘍手術	3
鼻骨骨折整復固定術	2
鼻骨骨折観血の手術	4
鼻副鼻腔悪性腫瘍手術	3
顎・口蓋裂形成手術	2
口唇悪性腫瘍手術	5
頬悪性腫瘍手術	1
頬骨骨折観血の整復術	2
顔面多発骨折観血の手術	4
腋臭症手術	1

**産婦人科**

試験開腹術（卵巢癌）	3
外陰血腫除去術	3
膣壁腫瘍摘出術	2
子宮脱手術	7
子宮頸管ポリープ切除術	2
子宮頸部円錐切除術	15
子宮筋腫摘出（核出）術	
腹式	8
腔式	6
子宮膣上部切断術	1
子宮全摘術	44
子宮悪性腫瘍手術	4
子宮附属器癒着剥離術（両側，開腹）	1
卵管結紮術（両側，開腹）	4
子宮附属器腫瘍摘出術（両側）	
開腹	42
腹腔鏡	3
子宮附属器悪性腫瘍手術	5
帝王切開術	120
子宮頸管縫縮術（シロツカー法）	3
流産手術	48
子宮内容除去術（不全流産）	4
子宮外妊娠手術（開腹）	1

**胸部外科**

中心静脈注射用カテーテル挿入	1
組織採取（開胸によるもの）	2
創傷処理・デブリードマン	6
試験開胸術	7
皮下腫瘍摘出術	1
胸腺摘出術	1
胸腔鏡下肺切除術	5
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	1
胸腔鏡下肺縫縮術	4
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	
リンパ節郭清を伴う	22
リンパ節郭清伴わない	5
試験開心術	2
心腫瘍摘出術（単独）	1
冠動脈バイパス移植術	
1吻合	2
2吻合	11
2吻合・人工心肺使用なし	1
左室形成術（単独）	2
左室自由壁破裂修復術（単独）	2
弁形成術	
1弁のもの	2
2弁のもの	1
弁置換術	
1弁のもの	14
2弁のもの	1
大動脈瘤切除術	
上行大動脈, その他のもの	6
上行大動脈・心臓弁置換（形成）	2
下行大動脈	2
腹部大動脈, その他のもの	4
腹部大動脈・分枝血管の再建伴	12
ステントグラフト内挿術	
胸部大動脈	2
腹部大動脈	7
心房中隔欠損閉鎖術（単独のもの）	1
ペースメーカー交換術	3
血管露出術	2
血管結紮術	2
動脈塞栓除去術	1
内シャント血栓除去術	3
動脈形成術	
胸腔内動脈	1
指（手, 足）の動脈	1
その他の動脈	7
動脈吻合術（胸腔内動脈）	1

内シャント設置術	53
バイパス移植術	
胸腔内動脈	1
大動脈	3
腹腔内動脈	6
その他の動脈	31
血管移植術	
大動脈	4
腹腔内動脈	1
その他の動脈	2
四肢の血栓除去術	5
四肢の血管拡張術	1
下肢静脈瘤手術（抜去切除術）	31
開胸胸骨再固定	1
心嚢ドレナージ挿入術	1

**精神神経科**

電気痙攣療法	43
--------	----

**眼 科**

翼状片手術（弁の移植を要するもの）	5
眼瞼結膜悪性腫瘍手術	1
前房内異物除去術	1
硝子体切除術	1
緑内障手術（虹彩切除術）	1
角膜潰瘍搔爬術	1
水晶体再建術	
眼内レンズを挿入する場合	330

**耳鼻科**

組織試験採取、切採法	10
創傷処理	1
皮膚腫瘍摘出術（露出部）	1
先天性耳瘻管摘出術	2
鼓膜（排液、換気）チューブ挿入術	11
鼓膜形成手術	1
鼓室形成手術	6
粘膜下下鼻甲介骨切除術	5
上顎洞根治手術	2
上顎洞篩骨洞根治手術	3
上顎洞篩骨洞前頭洞根治手術	1
汎副鼻腔根本手術	17
アデノイド切除術	3
中咽頭腫瘍摘出術（経口腔）	1
口蓋扁桃手術（摘出）	5
気管切開術	29
喉頭粘膜下異物挿入術	4
喉頭・声帯ポリープ切除術（直達喉頭鏡）	6
喉頭嚢腫摘出術	1
気管切開孔閉鎖術	2
気管口狭窄拡大術	1
蓋腫瘍摘出術（口蓋骨に及ぶもの）	1
口腔底悪性腫瘍手術	2
甲状舌管嚢胞摘出術	1
口唇腫瘍摘出術（その他）	3
がま腫摘出術	1
顎下腺腫瘍摘出術	3
顎下腺摘出術	1
耳下腺腫瘍摘出術（浅葉）	7
耳下腺腫瘍摘出術（深葉）	1
耳下腺悪性腫瘍手術（全摘）	1
甲状腺腫瘍摘出術（両葉）	1
甲状腺部分切除術（片葉）	1
甲状腺悪性腫瘍手術（全摘）	3
甲状腺悪性腫瘍手術（切除）	4
頸部郭清術（片側）	5
頸嚢摘出術	1
食道異物摘出術	3
血管結紮術（その他）	1
リンパ節摘出術	9

**脳神経外科**

穿頭脳室ドレナージ術	4
慢性硬膜下血腫洗浄・除去術（穿頭）	5
広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	1
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜下）	3
頭蓋内血腫除去術（開頭・脳内）	9
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	17
脳膿瘍全摘術	1
脳切除術	1
頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	3
経鼻の下垂体腫瘍摘出術	1
脳動静脈奇形摘出術	1
水頭症手術	
シャント手術	10
脳室穿破術（神経内視鏡手術）	1
脳動脈瘤流入血管クリッピング術（開頭）	
1箇所	2
2箇所以上	1
脳動脈瘤頸部クリッピング術	
1箇所	14
2箇所以上	4
脳血管内手術	
1箇所	8
2箇所以上	1
頭蓋骨形成手術	
硬膜形成を伴う	2
頭蓋骨のみ	3
頸動脈ステント留置術	8

**麻酔科**

中心静脈注射用カテーテル挿入	93
硬膜外麻酔	44

**循環器内科**

ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）	4
ペースメーカー交換術	17

**救急科**

気管切開術	5
デブリードマン	1

統計

# 平成20年度～平成23年度の4年間の院内感染発生状況

Report of Hospital infection in the Sunagawa City Medical Center for last 4 years

長島 明美  
Akemi Nagashima

## 要 旨

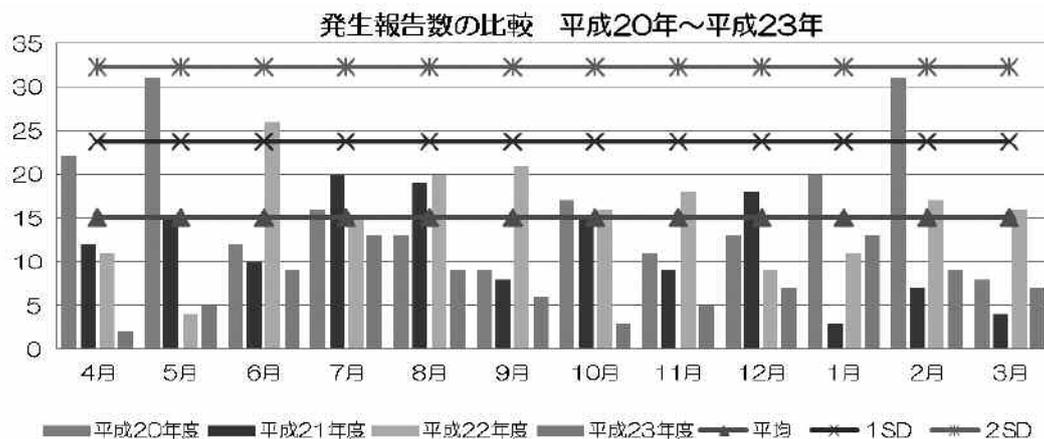
当院における平成20年度から平成23年度の4年間の、院内感染発生報告数と発生状況について、新病院建築前・病院完成と移転、移転後に分けて報告する。

Key words：院内感染

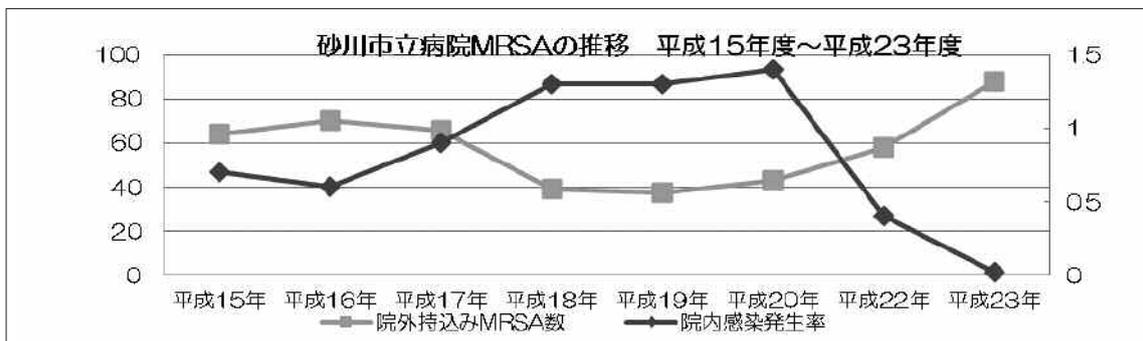
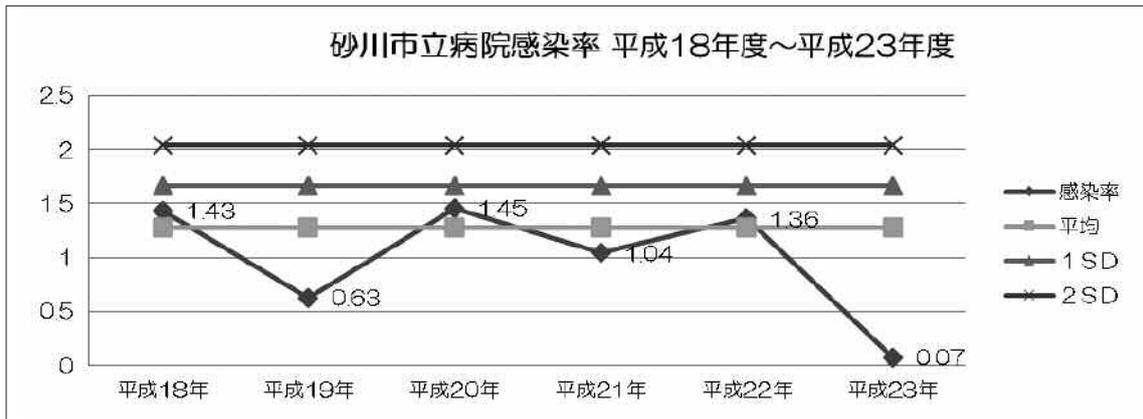
### I. 院内感染発生報告集計 平成20年度～平成23年度

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成20年度	22	31	12	16	13	9	17	11	13	20	31	8	203
平成21年度	12	15	10	20	19	8	15	9	18	3	7	4	140
平成22年度	11	4	28	15	20	21	16	18	9	11	17	16	186
平成23年度	2	5	9	13	9	6	3	5	7	13	9	7	88



$$\text{感染率} = \text{院内感染発生報告数} \div \text{述べ入院患者数} \times 1000$$



## II. 年度ごとの集計結果

### 1. 平成20年度および平成21年度

#### 1) 院内感染発生報告数

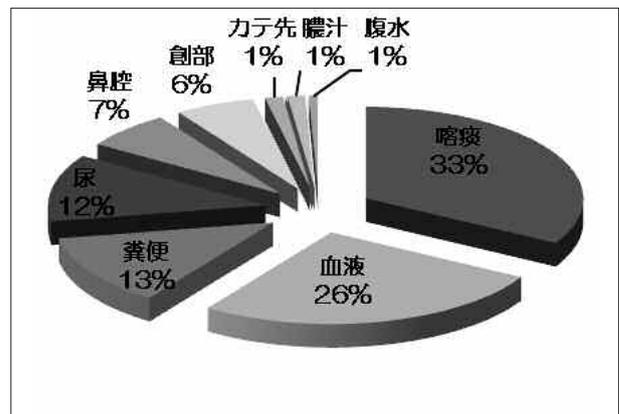
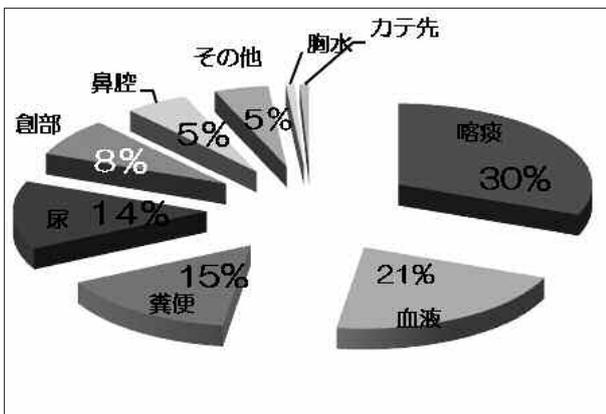
平成20年4月～平成21年3月

平成21年4月～平成22年3月

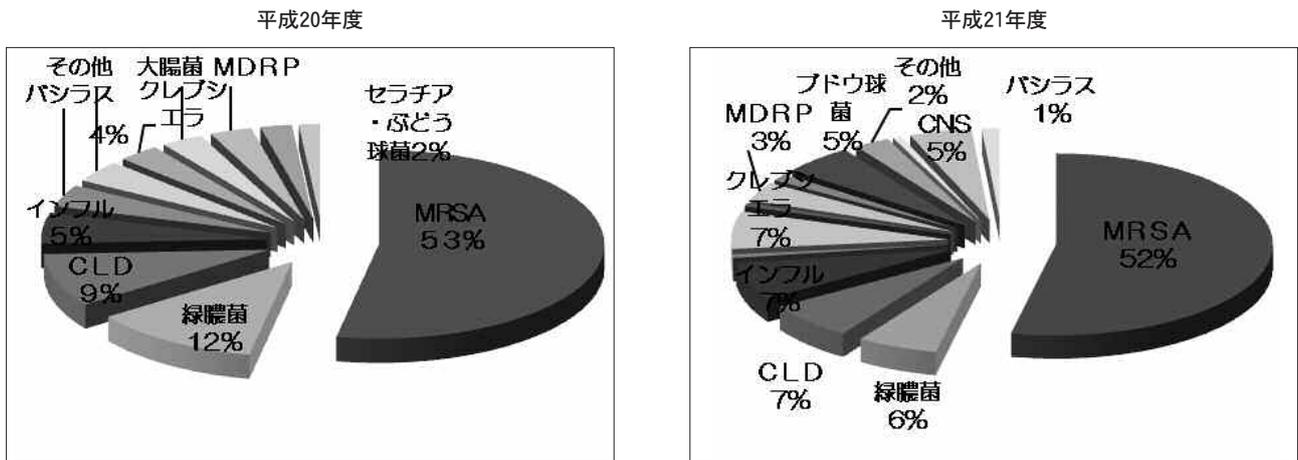
(単位：件)

	平成20年4月～平成21年3月												平成21年4月～平成22年3月												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1病棟	1	1		1		1			1		2														
2病棟		1			2			2			1					1									
3病棟	1	5	1	3	1				2	6			1		1	1		1	5	2	4				
4病棟	3	1		1	2	1			1	3	2	4		2	2	1	4	2	1	1	4			1	
5病棟	8	12	7	4	4	3	1	4	4	6	10	3	2	5	1	3	1	4	5						
7病棟	2			1	3	2	4				1		1	2			3	3	1	1	3		3	1	
8病棟																									
9病棟		1		1		1					1					1				2					
10病棟	3			2					1																
11病棟	1	3		1	1			1		2	1	5	4	3	2	6	6	5			3	1	2	1	1
12病棟	2	5	2	1		1	4	4		5	4	1	3	1	2	6	5	2		2	1				
ICU	1	2	2	1			5	2						3			1		2	1	2	1	3	1	
合計	22	31	12	16	13	9	17	11	13	20	31	6	12	15	10	20	19	6	15	9	16	3	7	4	

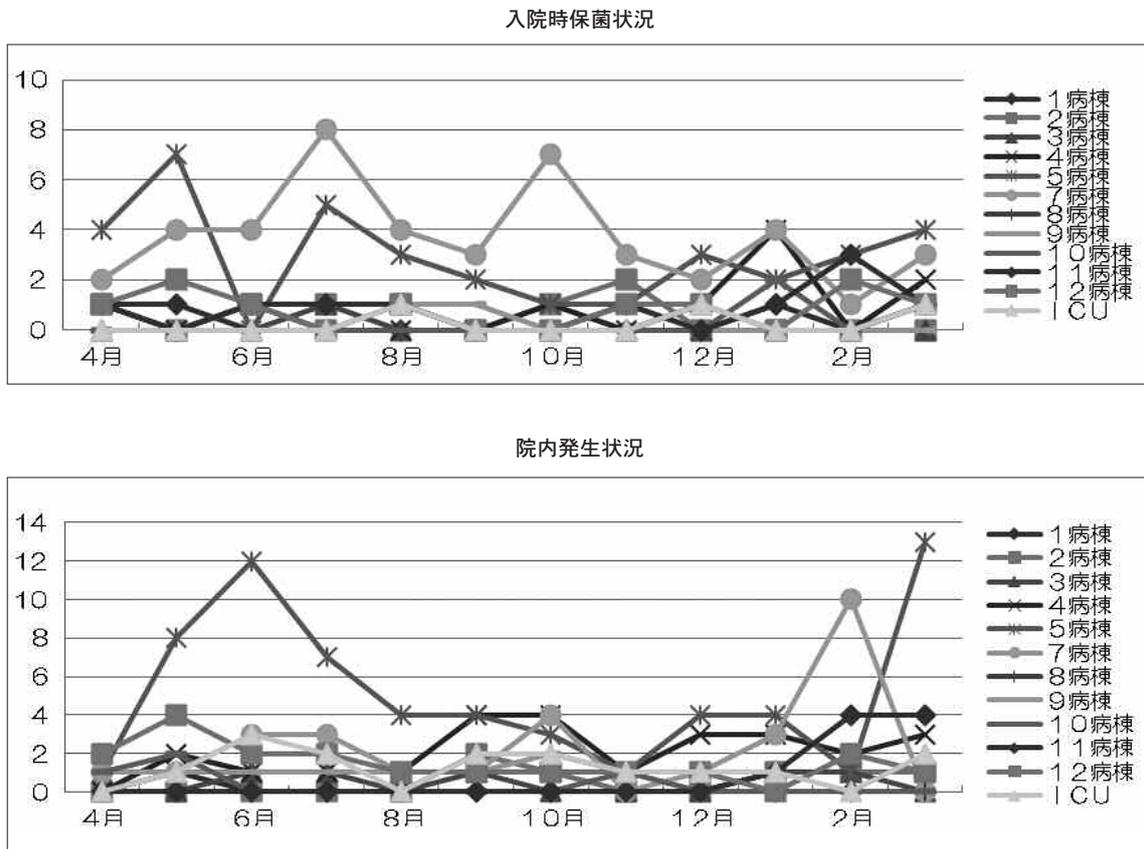
#### 2) 検体別集計結果



3) 検出菌別集計



4) MRSA集計 (平成20年度)



2. 平成22年度

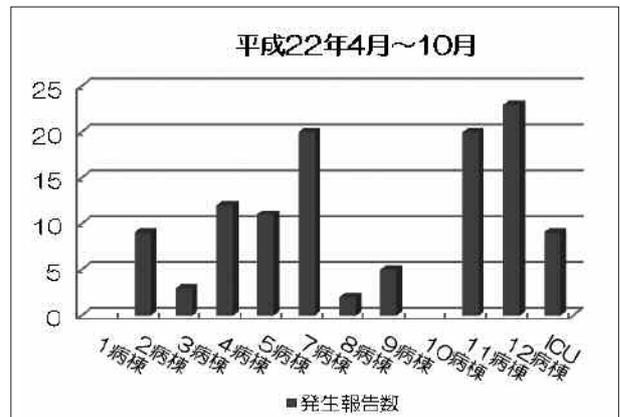
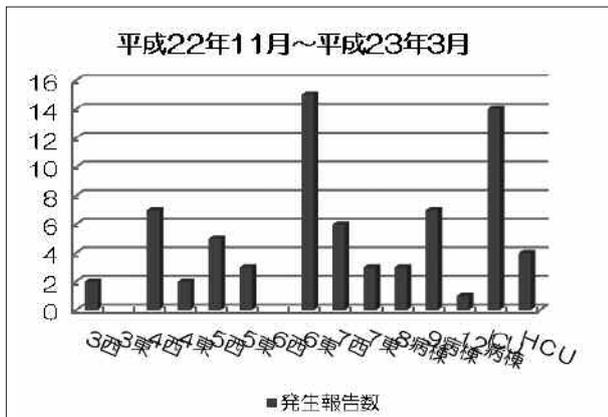
1) 院内感染発生報告数

旧病院 (単位：件)

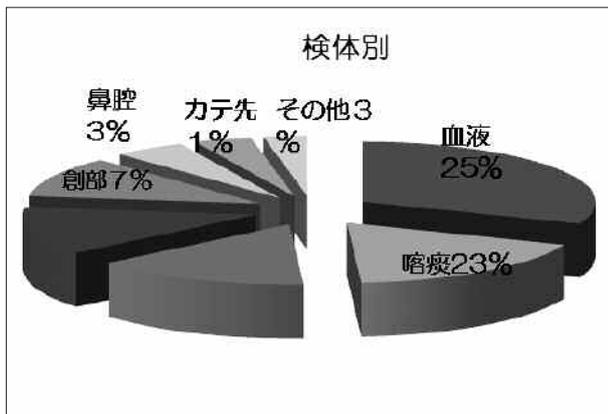
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
1病棟								
2病棟			4	1		1	3	9
3病棟					1	1	1	3
4病棟	3		5	3	1			12
5病棟	1	2	2	2	2	1	1	11
7病棟	1		2	5	1	5	6	20
8病棟			1		1			2
9病棟				1	3	1		5
10病棟								
11病棟	4		6	2	1	4	3	20
12病棟	2	2	5		6	7	1	23
ICU			3	1	4	1		9
合計	11	4	28	15	20	21	15	114

新病院 (単位：件)

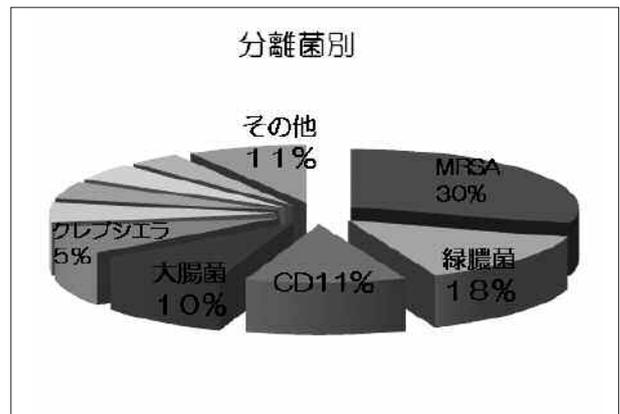
	11月	12月	1月	2月	3月	
3西				2		2
3東						
4西	2	2		2	1	7
4東		1	1			2
5西	2		1	2		5
5東				2	1	3
6西						
6東	5	5	1	2	2	15
7西	2		2	2		6
7東	1		2			3
8病棟	1				2	3
9病棟	1		1		5	7
12病棟	1					1
ICU	4	1	2	3	4	14
HCU			1	2	1	4
合計	19	9	11	17	16	72



3) 検体別集計



4) 分離菌別集計



4) MRSA病院感染率

院内発生件数 60件 院内感染発生率0.4% (院内発生数÷述べ入院患者数×1000)

入院時保菌者 58件

平成22年4月~10月

(単位: 件)

1病棟	2病棟	3病棟	4病棟	5病棟	7病棟	8病棟	9病棟	10病棟	11病棟	12病棟	ICU
0	0	2	6	8	4	2	1	0	7	4	0

平成22年11月~平成23年3月

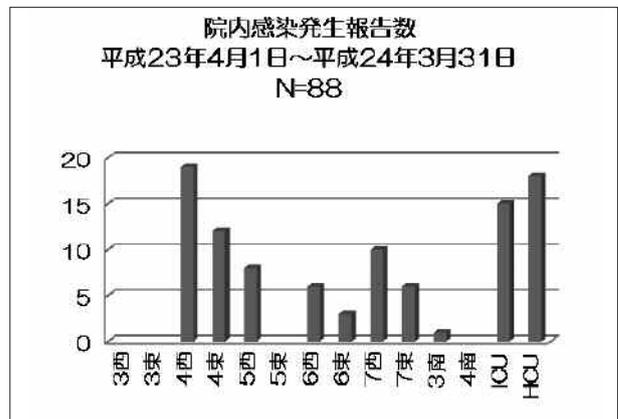
(単位: 件)

3西	3東	4西	4東	5西	5東	6西	6東	7西	7東	8病棟	9病棟	ICU	HCU
1	0	1	3	2	4	0	3	2	4	0	1	4	1

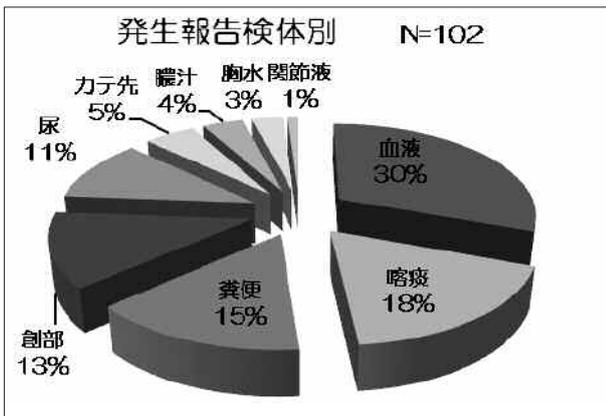
3. 平成23年度

1) 院内感染発生報告数 (単位: 件)

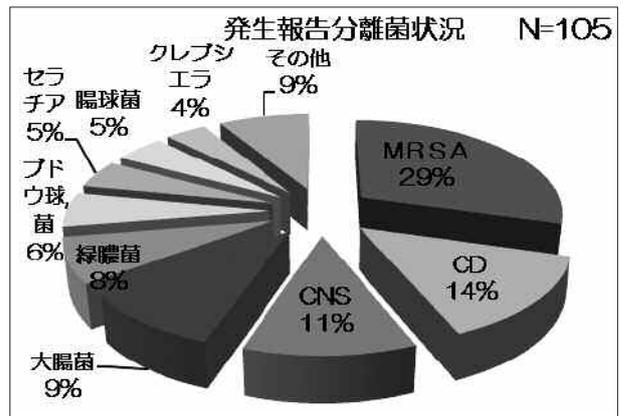
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3西													
3東													
4西			3	2				3	4	4	1	2	19
4東	1	1	1	2	1				4	2	1		12
5西	1	1				2	2			1	1		8
6東			1										6
6西									3		2		6
6東				2	1								3
7西	1	1	1	2	1				1	3			10
7東	1	2				2		1					6
3南											1		1
4南													
ICU	1	1		2	5	1		1	2			2	15
HCU			1	4			1		1		1		8
合計	2	5	9	13	9	6	3	5	7	13	9	7	88



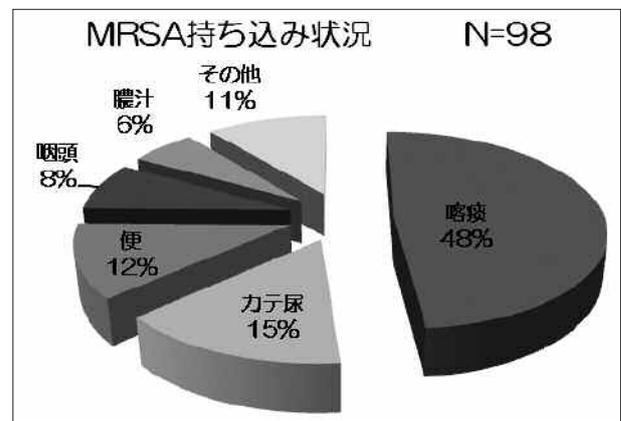
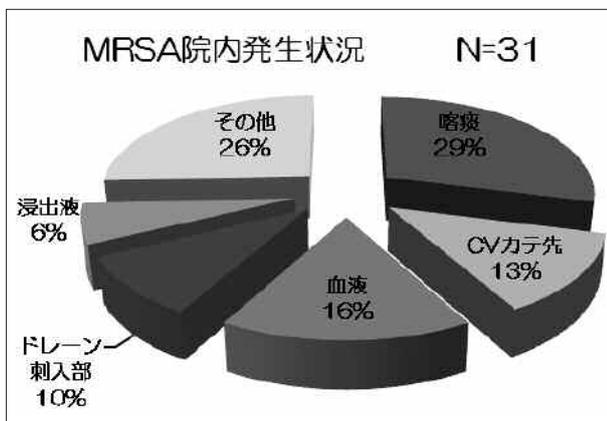
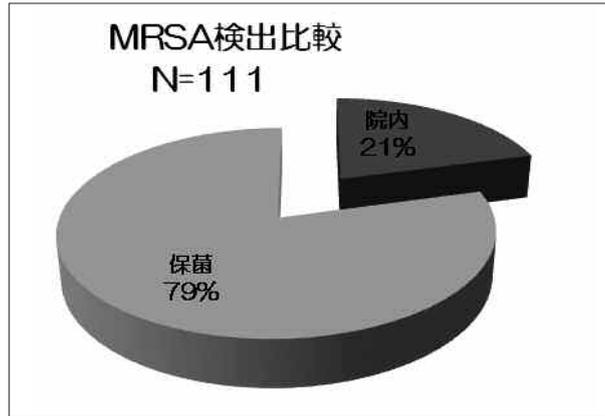
2) 検体別集計



3) 分離菌別集計



4) MRSA検出比較



## 統計

## 平成20年～平成23年当院における時間外受診者状況及び救急車等搬入、搬出状況

Statistics of outpatients in the emergency room of Sunagawa city medical center

栗葉 惇 朝日 紀博 細川 仁  
 Jun Kuriha Norihiro Asahi Hitoshi Hosokawa

## 要 旨

当院における平成20年から平成23年までの時間外受診者状況と救急車等による患者搬入状況及び搬出状況について集計を行なったので報告する。

Key words : Statistics, Outpatients, Emergency

## はじめに

当院は、昭和15年の開院以来、幾多の困難を乗り越え中空知地域の基幹病院として地域センター病院、災害拠点病院、地域がん診療拠点病院、地域周産期母子医療センターなど数多くの指定を受けるに至っている。

しかし、昭和43年に建設された本館をはじめ施設の老朽化と狭隘等により新病院建設に着手し、平成22年10月に新本館を開院、翌年10月には南館を開院させ、地域住民が安心して受診できる施設整備と診療体制を構築してきた。

また、当地域に不足していた救急医療体制も整備を図り、平成23年12月には地域救命救急センターの指定を受けるに至った。

このような状況のなか、平成20年から平成23年の当院における時間外受診者の状況等について報告する。

## 調査方法

期間：平成20年1月1日から平成23年12月31日までの4年間

対象：時間外受診者、救急車等による搬入者及び搬出者

方法：当直日誌、傷病者調書（救急車専用）及び救急車依頼簿等より集計

## 調査内容

- 1) 平成20年 月別及び科別時間外受診者数（休日の受診者再掲）(表1-1)
- 2) 平成21年 月別及び科別時間外受診者数（休日の受診者再掲）(表1-2)
- 3) 平成22年 月別及び科別時間外受診者数（休日の受診者再掲）(表1-3)
- 4) 平成23年 月別及び科別時間外受診者数（休日の受診者再掲）(表1-4)
- 5) 平成20年 月別及び科別時間外入院者数（休日の入院者再掲）(表2-1)
- 6) 平成21年 月別及び科別時間外入院者数（休日の入院者再掲）(表2-2)
- 7) 平成22年 月別及び科別時間外入院者数（休日の入院者再掲）(表2-3)
- 8) 平成23年 月別及び科別時間外入院者数（休日の入院者再掲）(表2-4)

※休日の受診者とは、土曜、日曜、祝祭日の午前8時30分より翌日の午前8時30分までに受診した数である。

- 9) 平成20年 月別及び地域別時間外受診者数(表3-1)
- 10) 平成21年 月別及び地域別時間外受診者数(表3-2)
- 11) 平成22年 月別及び地域別時間外受診者数(表3-3)
- 12) 平成23年 月別及び地域別時間外受診者数(表3-4)

- 13) 平成20年 救急車による科別搬入状況 (表4-1)
- 14) 平成21年 救急車による科別搬入状況 (表4-2)
- 15) 平成22年 救急車による科別搬入状況 (表4-3)
- 16) 平成23年 救急車による科別搬入状況 (表4-4)
- 17) 平成22年 ドクターヘリによる科別搬入状況 (表5-1)
- 18) 平成23年 ドクターヘリによる科別搬入状況 (表5-2)
- 19) 平成20年 救急車による搬出状況 (表6-1)
- 20) 平成21年 救急車による搬出状況 (表6-2)
- 21) 平成22年 救急車による搬出状況 (表6-3)
- 22) 平成23年 救急車による搬出状況 (表6-4)

※救急車・ドクターヘリによる搬入状況及び搬出状況は、時間外に限らず1年間に搬入・搬出された件数である。

## 考 察

表1-1、表1-2については、内科、小児科、整形外科の受診率が高く、合わせて全体の60%程度を占めている。表1-3については、平成22年10月の新病院開院時に救急科を開設したこともあり、内科、小児科、整形外科、救急科で全体の59.0%を占めている。表1-4については、救急科が全体の82.7%を占めているが、これは、患者数のカウント方法が、救急科開設以前は、それぞれ専門診療科にてカウントしていたのに対し、救急科開設後は特に専門診療科の診察を要する場合を除き、複数科に亘る場合であっても全て救急科のみとしてカウントしているためである。

また、平成20年から平成23年までの4年間の日数1,461日のうち488日(33.4%)が休日であり、その休日に全時間外受診者のうち60.4%が受診している。

時間外に受診する理由については様々であるが、時間外診療に対する患者意識の変化やニーズの多様化により、救急外来における医師・看護師・更にはコメディカルスタッフの役割も多様化しており、その対応についても重要性を増している。

表2-1から表2-2については、産婦人科、内科、脳神経外科、循環器科の入院患者が多く、合わせて全体の65%程度を占めている。救急科開設後の表2-3から表2-4については、表1と同様のことが言える。

入院理由については、内科はさまざまであるが、産婦人科は「出産」による入院、脳神経外科は「脳梗塞」「脳出血」「交通事故」による入院、循環器科は「心筋梗塞」「狭心症」による入院が目立つ。

また、休日における入院者数も全時間外入院者のうち53.3%が休日に入院しており、こちらも表1と同様のことが言える。

表3-1から表3-4については、砂川市内の受診者は36%～40%程度に留まり、他市町村からの受診者が60%～64%程度を占めている。更に、新病院開院後は近隣市町村以外のその他の地域からの受診者が増加しており、よ

り広範囲な地域から患者を受入れている傾向が見られる。

これらのことから地域救命救急センターとしての責務を果たすうえで極めて重要な位置付けとなっている。

表4-1から表4-2については、内科、脳神経外科、整形外科、循環器科が多く、合わせて全体の75%程度を占めている。救急科開設後の表4-3から表4-4については、表1と同様のことが言える。

搬入理由については、内科はさまざまであるが、脳神経外科は「脳梗塞、脳出血、交通事故」によるもの、整形外科は「交通事故、転倒による骨折」によるもの、循環器科は「心筋梗塞などの急性疾患」によるものが目立つ。

表5-1から表5-2については、新病院屋上にヘリポートを設置したことにより集計を開始しているが、平成22年についてはドクターヘリによる搬入受入れ実績は無かったが、平成23年には14件の搬入受入れがあった。

表6-1から表6-4については、内科、整形外科、脳神経外科、産婦人科を中心に4年間の合計で148件の搬出があった。

## おわりに

時間外・休日・深夜といった診療時間外における受診者数はその年によって増減はあるものの、「地域センター病院」として中空知医療圏から数多くの時間外受診者を受け入れてきた。

これからは、「地域救命救急センター」として中空知医療圏からの時間外受診者はもとより、医療圏外からの時間外受診者数も増加していくと考えられる。更には、患者のニーズも多種多様化してきており、これらのことを踏まえたうえで、今後においても集計を続け報告をしていきたい。

表 1-1 平成20年 月別及び科別時間外受診者数

区 分	内科	精神科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	合計
1月	220	21	0	56	155	13	91	41	55	6	17	25	52	7	46	0	3	808
2月	148	16	0	32	123	8	70	28	39	5	13	15	30	5	32	0	2	566
3月	183	19	0	49	153	12	85	28	56	4	15	28	50	6	35	0	1	724
4月	119	11	0	24	110	7	50	18	30	2	10	17	23	3	22	0	0	446
5月	174	15	1	46	169	8	73	28	65	1	18	33	49	12	30	0	6	728
6月	61	9	0	19	70	4	35	6	22	0	10	16	17	5	13	0	1	288
7月	160	16	0	50	164	6	74	33	46	1	19	18	50	13	36	0	2	688
8月	83	5	0	26	109	3	41	17	21	1	11	11	19	5	21	0	2	375
9月	201	17	0	60	204	13	92	32	51	4	25	25	47	31	46	0	0	848
10月	124	8	0	34	150	5	65	18	34	4	18	16	23	23	26	0	0	548
11月	166	12	1	37	143	13	101	36	43	5	26	21	50	14	31	0	2	701
12月	104	3	0	18	103	6	68	21	24	1	11	12	24	6	20	0	0	421
合計	147	24	0	42	132	6	73	43	43	4	37	18	48	19	35	0	1	672
月平均	80	18	0	22	74	3	46	24	18	2	21	7	26	10	19	0	1	371
割合	147	27	0	48	132	18	108	44	69	2	32	32	66	19	38	0	2	784
1月	87	13	0	25	78	11	60	15	41	1	21	19	37	13	16	0	1	438
2月	121	23	0	47	124	10	85	46	52	3	30	29	51	13	38	0	5	677
3月	65	11	0	23	78	5	52	30	35	1	19	14	28	9	18	0	1	389
4月	145	15	0	42	132	14	87	29	47	4	16	18	39	12	30	0	3	633
5月	79	6	0	21	81	8	56	18	29	3	7	10	19	9	14	0	0	360
6月	152	15	0	41	170	18	92	31	56	3	23	34	52	12	35	0	5	739
7月	99	6	0	25	130	10	65	18	37	1	16	19	29	7	28	0	5	495
8月	197	15	0	46	178	14	99	23	44	1	13	26	43	9	27	0	2	737
9月	129	12	0	23	133	5	63	12	29	1	11	9	24	7	17	0	0	475
合計	2,013	219	2	564	1,856	145	1,060	414	627	38	271	307	597	167	427	0	32	8,739
月平均	1,178	118	0	292	1,239	75	671	225	359	22	168	165	299	102	246	0	13	5,172
割合	167.8	18.3	0.2	47.0	154.7	12.1	88.3	34.5	52.3	3.2	22.6	25.6	49.8	13.9	35.6	0.0	2.7	728.3
割合	98.2	9.8	0.0	24.3	103.3	6.3	55.9	18.8	29.9	1.8	14.0	13.8	24.9	8.5	20.5	0.0	1.1	431.0
割合	23.0%	2.5%	0.0%	6.5%	21.2%	1.7%	12.1%	4.7%	7.2%	0.4%	3.1%	3.5%	6.8%	1.9%	4.9%	0.0%	0.4%	100.0%
割合	22.8%	2.3%	0.0%	5.6%	24.0%	1.5%	13.0%	4.4%	6.9%	0.4%	3.2%	3.2%	5.8%	2.0%	4.8%	0.0%	0.3%	100.0%

\* 上段の数：時間外総受診者数（入院+外来）  
 \* 下段の数：時間外受診者数のうち休日（土曜、日曜、祝祭日）の受診者数

表 1-2 平成21年 月別及び科別時間外受診者数

区 分	内科	精神科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	合計
1月	325	13	0	45	153	16	90	25	69	4	18	24	75	8	44	0	2	911
2月	247	8	0	31	125	13	68	17	36	2	15	19	42	5	32	0	1	661
3月	128	14	0	39	85	13	78	33	58	5	10	12	51	10	32	0	2	570
4月	84	7	0	16	64	6	40	17	32	2	6	10	26	5	19	0	2	343
5月	165	21	1	47	147	12	73	35	44	1	17	21	41	5	26	0	2	658
6月	95	9	1	27	93	5	42	26	18	1	10	10	22	4	11	0	2	376
7月	143	28	0	48	174	11	68	36	58	6	20	19	43	8	39	1	3	705
8月	77	14	0	23	120	7	45	18	27	4	7	13	24	5	20	0	0	404
9月	211	24	1	54	282	12	124	63	60	7	38	31	58	16	48	0	2	1,031
10月	149	16	0	32	220	9	82	48	36	4	23	22	38	11	29	0	1	720
11月	166	23	0	32	143	10	80	51	44	3	24	27	48	15	29	0	0	695
12月	88	9	0	14	85	4	37	31	14	0	12	10	23	10	14	0	0	351
合計	145	23	0	64	103	11	76	50	48	10	35	24	49	11	40	0	5	694
月平均	75	7	0	27	67	6	44	31	24	4	18	12	23	7	21	0	2	368
割合	174	16	0	31	113	14	98	39	46	4	40	23	58	19	40	0	0	715
1月	90	7	0	21	79	8	66	26	28	4	28	18	26	11	21	0	0	433
2月	185	29	0	48	179	16	84	39	48	7	36	24	39	5	51	0	2	792
3月	127	13	0	29	127	11	59	26	34	5	25	15	24	2	37	0	2	536
4月	347	20	0	29	620	17	80	29	45	3	17	21	50	9	25	0	3	1,315
5月	218	9	0	15	485	3	48	15	19	2	11	11	24	6	12	0	1	879
6月	207	21	0	47	250	18	76	28	42	3	22	30	61	8	34	0	3	850
7月	123	11	0	26	189	13	56	16	21	3	16	18	31	5	23	0	1	552
8月	194	16	0	35	162	15	107	32	49	7	24	22	55	15	39	0	4	776
9月	100	6	0	18	102	12	57	13	26	2	11	15	26	10	20	0	1	419
合計	2,390	248	2	519	2,411	165	1,034	460	611	60	301	278	628	129	447	1	28	9,712
月平均	1,473	116	8	279	1,756	97	644	284	315	33	182	173	329	81	259	0	13	6,042
割合	199.2	20.7	0.2	43.3	200.9	13.8	86.2	38.3	50.9	5.0	25.1	23.2	52.3	10.8	37.3	0.1	2.3	809.3
割合	122.8	9.7	0.7	23.3	146.3	8.1	53.7	23.7	26.3	2.8	15.2	14.4	27.4	6.8	21.6	0.0	1.1	503.5
割合	24.6%	2.6%	0.0%	5.3%	24.8%	1.7%	10.6%	4.7%	6.3%	0.6%	3.1%	2.9%	6.5%	1.3%	4.6%	0.0%	0.3%	100.0%
割合	24.4%	1.9%	0.1%	4.6%	29.1%	1.6%	10.7%	4.7%	5.2%	0.5%	3.0%	2.9%	5.4%	1.3%	4.3%	0.0%	0.2%	100.0%

\* 上段の数：時間外総受診者数（入院+外来）  
 \* 下段の数：時間外受診者数のうち休日（土曜、日曜、祝祭日）の受診者数

平成20年～平成23年当院における時間外受診者状況及び救急車等搬入、搬出状況

表1-3 平成22年 月別及び科別時間外受診者数

区分	内科	精神科	神経内科	循環器内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	救急科	合計
1月	205	26	0	64	141	17	110	28	54		5	22	32	59	9	36	0	5		813
2月	138	19	0	41	106	10	71	20	32		5	14	19	37	5	24	0	3		544
3月	124	5	0	39	102	13	90	30	35		11	12	24	44	10	30	0	5		574
4月	73	3	3	18	65	3	58	18	20		5	9	16	23	7	17	0	4		342
5月	131	18	0	39	102	17	78	34	51		6	24	23	43	13	34	0	4		617
6月	68	9	0	22	56	8	40	22	32		3	15	16	23	6	17	0	2		339
7月	127	24	0	55	159	15	87	28	45		4	15	19	49	12	26	0	7		672
8月	76	12	0	30	91	6	55	21	24		3	9	10	19	9	14	0	5		384
9月	212	16	2	53	248	16	96	41	56		0	37	28	57	20	48	0	3		933
10月	151	9	1	42	187	10	67	28	32		0	27	16	39	10	33	0	3		655
11月	147	17	1	47	149	11	90	45	46		7	47	23	44	16	24	0	11		725
12月	79	7	1	16	80	6	49	27	20		2	28	8	21	11	11	0	2		368
合計	156	26	1	40	130	17	94	56	42		5	49	34	49	20	39	0	11		769
月平均	87	15	0	22	80	10	65	32	27		3	31	20	24	12	26	0	7		461
1月	163	28	1	41	96	7	94	55	56		3	35	35	50	19	35	0	15		733
2月	88	16	0	26	52	2	60	31	31		1	21	19	29	12	23	0	6		417
3月	160	35	0	29	80	7	105	46	42		6	41	27	62	14	39	0	14		707
4月	91	22	0	13	49	4	61	24	22		5	26	12	33	7	27	0	9		405
5月	128	18	0	39	111	13	55	18	36	0	5	32	29	53	16	32	0	13	111	709
6月	54	9	0	18	73	8	38	10	20	0	2	20	19	22	11	16	0	76	76	472
7月	13	3	0	9	15	5	11	4	15	0	3	4	3	14	6	2	0	1	483	591
8月	4	1	0	5	13	3	8	1	5	0	1	4	0	5	5	1	0	1	226	283
9月	17	6	0	22	24	6	11	6	24	0	1	2	2	5	1	0	0	0	645	793
10月	12	3	0	8	21	2	5	1	19	0	0	1	1	11	4	0	0	0	372	460
合計	1583	222	5	477	1357	144	921	391	502	0	56	319	279	546	160	346	0	89	1239	8636
月平均	921	125	5	261	873	72	577	235	284	0	30	205	156	286	99	209	0	118	674	5130
割合	131.9	18.5	0.4	39.8	113.1	12.0	76.8	32.6	41.8	0.0	4.7	26.6	23.3	45.5	13.3	28.8	0.0	7.4	309.8	719.7
	76.8	10.4	0.4	21.8	72.8	6.0	48.1	19.6	23.7	0.0	2.5	17.1	13.0	23.8	8.3	17.4	0.0	9.8	168.5	427.5
	18.3%	2.6%	0.1%	5.5%	15.7%	1.7%	10.7%	4.5%	5.8%	0.0%	0.6%	3.7%	3.2%	6.3%	1.9%	4.0%	0.0%	1.0%	14.3%	100.0%
	18.0%	2.4%	0.1%	5.1%	17.0%	1.4%	11.2%	4.6%	5.5%	0.0%	0.6%	4.0%	3.0%	5.6%	1.9%	4.1%	0.0%	2.3%	13.1%	100.0%

\* 上段の数：時間外総受診者数（入院+外来）  
\* 下段の数：時間外受診者数のうち休日（土曜、日曜、祝祭日）の受診者数

表1-4 平成23年 月別及び科別時間外受診者数

区分	内科	精神科	神経内科	循環器内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	救急科	合計
1月	25	4	0	11	10	9	14	3	19	2	4	2	8	22	3	5	0	1	708	850
2月	4	1	0	6	2	4	3	4	0	0	2	2	12	2	5	0	1	582	631	
3月	15	0	1	14	10	5	12	1	11	0	2	2	4	10	6	2	0	0	481	576
4月	2	1	0	5	8	0	4	0	1	0	1	0	0	5	2	0	0	0	315	344
5月	17	3	0	9	23	8	16	4	19	0	3	2	11	11	6	5	0	0	589	726
6月	8	0	0	4	20	4	8	2	9	0	2	2	6	2	6	5	0	0	338	416
7月	18	3	0	15	25	12	17	3	18	0	1	2	10	29	6	3	0	0	611	773
8月	13	1	0	10	20	5	11	2	9	0	0	2	8	16	5	2	0	0	380	484
9月	35	3	0	20	25	13	13	8	16	0	6	0	12	41	6	5	0	0	764	967
10月	27	1	0	16	19	6	10	4	10	0	6	0	9	25	3	3	0	0	517	656
11月	7	5	2	13	13	4	12	7	12	0	1	2	9	37	9	2	0	0	618	753
12月	3	3	2	10	11	2	9	6	7	0	0	2	5	19	4	0	0	0	315	398
合計	11	9	0	9	15	3	10	2	10	0	2	0	6	53	2	6	0	0	740	878
月平均	7	2	0	5	13	1	10	2	6	0	2	0	4	28	0	4	0	0	452	536
1月	20	6	0	15	11	2	17	8	13	1	2	1	5	34	8	0	0	0	630	773
2月	8	1	0	4	7	0	6	5	6	0	2	1	2	11	5	0	0	0	291	349
3月	7	8	0	14	11	5	7	6	10	0	4	4	4	33	7	6	0	0	602	728
4月	5	4	0	3	10	3	3	3	7	0	1	3	2	14	5	4	0	0	375	442
5月	16	1	0	9	6	0	9	2	7	0	3	2	2	40	8	5	0	0	656	766
6月	6	0	0	6	6	0	3	1	4	0	1	2	2	17	5	3	0	0	428	484
7月	12	2	0	8	12	4	14	1	3	0	1	1	8	44	3	4	0	0	553	670
8月	6	0	0	6	11	1	10	0	1	0	1	1	7	21	2	1	0	0	344	412
9月	6	2	0	1	12	1	16	2	2	0	3	0	5	27	2	9	0	0	661	749
10月	3	2	0	1	12	1	11	2	0	0	3	0	4	12	2	6	0	0	384	443
合計	189	46	3	138	173	66	157	47	140	3	32	18	84	381	66	52	0	1	7613	9209
月平均	92	16	2	71	143	25	89	30	64	0	19	15	51	182	41	33	0	1	4721	5595
割合	15.8	3.8	0.3	11.5	14.4	5.5	13.1	3.9	11.7	0.3	2.7	1.5	7.0	31.8	5.5	4.3	0.0	0.1	634.4	767.4
	7.7	1.3	0.2	5.9	11.9	2.1	7.4	2.5	5.3	0.0	1.6	1.3	4.3	15.2	3.4	2.8	0.0	0.1	393.4	466.3
	2.1%	0.5%	0.0%	1.5%	1.9%	0.7%	1.7%	0.5%	1.5%	0.0%	0.3%	0.2%	0.9%	4.1%	0.7%	0.6%	0.0%	0.0%	82.7%	100.0%
	1.6%	0.3%	0.0%	1.3%	2.6%	0.4%	1.6%	0.5%	1.1%	0.0%	0.3%	0.3%	0.9%	3.3%	0.7%	0.6%	0.0%	0.0%	84.4%	100.0%

\* 上段の数：時間外総受診者数（入院+外来）  
\* 下段の数：時間外受診者数のうち休日（土曜、日曜、祝祭日）の受診者数

表 2-1 平成20年 月別及び科別時間外入院者数

区 分	内科	精神科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	合計
1月	28	2	0	19	11	7	14	1	22	3	0	3	23	0	4	0	0	137
	13	2	0	11	9	4	12	0	14	2	0	2	11	0	1	0	0	81
2月	21	3	0	20	14	6	8	1	18	3	2	4	27	0	3	0	0	130
	14	3	0	8	10	3	5	1	11	1	2	3	9	0	1	0	0	71
3月	18	2	0	18	10	4	11	0	21	0	1	6	28	0	1	0	1	121
	4	1	0	7	3	3	8	0	3	0	1	1	11	0	1	0	0	43
4月	22	4	0	19	15	1	4	0	18	1	0	4	28	0	1	0	1	118
	15	1	0	11	11	1	4	0	9	1	0	1	10	0	1	0	1	66
5月	28	4	0	18	20	10	8	0	16	2	1	7	30	0	4	0	0	148
	17	1	0	11	14	4	7	0	11	2	1	3	12	0	1	0	0	84
6月	26	2	0	12	14	5	9	0	14	2	0	2	26	1	1	0	1	115
	17	0	0	5	10	2	5	0	10	0	0	2	10	1	1	0	0	63
7月	22	6	0	9	10	3	7	0	20	2	0	6	22	3	4	0	0	114
	12	3	0	5	5	2	3	0	8	1	0	2	9	0	2	0	0	52
8月	22	9	0	18	10	12	8	0	27	2	0	8	37	1	1	0	0	155
	16	3	0	12	6	9	5	0	16	1	0	5	18	0	0	0	0	91
9月	17	5	0	15	17	7	10	0	19	1	0	4	29	0	1	0	0	125
	7	1	0	9	12	4	3	0	13	0	0	3	11	0	0	0	0	63
10月	22	4	0	16	19	8	1	1	21	3	1	2	22	1	2	0	1	124
	13	1	0	6	9	3	1	1	10	2	0	1	7	1	2	0	0	57
11月	15	1	0	15	10	10	12	0	21	1	1	6	30	0	1	0	0	123
	12	0	0	11	8	5	7	0	13	0	0	4	15	0	1	0	0	76
12月	21	2	0	21	15	6	11	0	13	1	0	4	28	0	2	0	0	124
	14	2	0	10	12	3	9	0	9	1	0	1	13	0	1	0	0	75
合計	262	44	0	200	165	79	103	3	230	21	6	56	330	6	25	0	4	1,534
	154	18	0	106	109	43	69	2	127	11	4	28	136	2	12	0	1	822
月平均	21.8	3.7	0.0	16.7	13.8	6.6	8.6	0.3	19.2	1.8	0.5	4.7	27.5	0.5	2.1	0.0	0.3	127.8
	12.8	1.5	0.0	8.8	9.1	3.6	5.8	0.2	10.6	0.9	0.3	2.3	11.3	0.2	1.0	0.0	0.1	68.5
割合	17.1%	2.9%	0.0%	13.0%	10.8%	5.1%	6.7%	0.2%	15.0%	1.4%	0.4%	3.7%	21.5%	0.4%	1.6%	0.0%	0.3%	100.0%
	18.7%	2.2%	0.0%	12.9%	13.3%	5.2%	8.4%	0.2%	15.5%	1.3%	0.5%	3.4%	16.5%	0.2%	1.5%	0.0%	0.1%	100.0%

\* 上段の数：時間外入院者数

\* 下段の数：時間外入院者数のうち休日（土曜、日曜、祝祭日）の入院者数

表 2-2 平成21年 月別及び科別時間外入院者数

区 分	内科	精神科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	合計
1月	27	5	0	15	7	8	8	0	19	3	2	6	47	0	1	0	0	148
	17	4	0	10	5	7	6	0	8	1	1	5	21	0	1	0	0	86
2月	19	3	0	15	10	6	6	0	21	4	0	2	27	0	1	0	0	114
	11	3	0	6	8	3	1	0	11	2	0	2	10	0	1	0	0	58
3月	27	3	0	13	10	6	5	0	13	1	1	7	25	0	2	0	0	113
	14	1	0	9	5	2	3	0	4	1	0	3	10	0	2	0	0	54
4月	14	8	0	19	9	6	7	2	28	3	1	1	23	0	4	0	0	125
	8	6	0	10	6	4	3	2	12	1	0	0	12	0	3	0	0	67
5月	14	5	0	16	10	8	14	0	23	4	0	2	30	0	0	0	0	126
	12	4	0	10	8	6	10	0	12	3	0	2	12	0	0	0	0	79
6月	25	6	0	9	12	4	5	0	12	1	1	2	26	1	2	0	0	106
	16	2	0	3	9	1	3	0	1	0	0	0	8	1	1	0	0	45
7月	18	6	0	18	5	6	9	0	14	5	0	2	27	0	3	0	2	115
	10	2	0	8	4	3	5	0	5	2	0	1	15	0	3	0	1	59
8月	22	4	0	11	6	4	11	1	10	2	1	4	37	1	3	0	0	117
	11	3	0	7	3	1	9	0	9	2	1	3	15	0	3	0	0	67
9月	25	8	0	6	7	7	5	1	24	4	2	3	24	0	1	0	0	117
	17	3	0	3	4	5	4	1	16	3	1	3	15	0	1	0	0	76
10月	17	5	0	10	14	7	4	0	13	1	1	2	36	1	2	0	0	113
	10	3	0	3	5	1	1	0	9	0	1	0	12	1	2	0	0	48
11月	18	7	0	14	7	9	8	0	15	2	1	6	31	0	1	0	0	119
	11	3	0	7	6	7	6	0	8	2	1	3	14	0	1	0	0	69
12月	18	5	0	13	4	8	9	1	16	3	1	1	32	1	2	0	1	115
	6	2	0	7	0	6	3	0	11	1	1	0	13	1	1	0	0	52
合計	244	65	0	159	101	79	91	5	208	33	11	38	365	4	22	0	3	1,428
	143	36	0	83	63	46	54	3	106	18	6	22	157	3	19	0	1	760
月平均	20.3	5.4	0.0	13.3	8.4	6.6	7.6	0.4	17.3	2.8	0.9	3.2	30.4	0.3	1.8	0.0	0.3	119.0
	11.9	3.0	0.0	6.9	5.3	3.8	4.5	0.3	8.8	1.5	0.5	1.8	13.1	0.3	1.6	0.0	0.1	63.3
割合	17.1%	4.6%	0.0%	11.1%	7.1%	5.5%	6.4%	0.4%	14.6%	2.3%	0.8%	2.7%	25.6%	0.3%	1.5%	0.0%	0.2%	100.0%
	18.8%	4.7%	0.0%	10.9%	8.3%	6.1%	7.1%	0.4%	13.9%	2.4%	0.8%	2.9%	20.7%	0.4%	2.5%	0.0%	0.1%	100.0%

\* 上段の数：時間外入院者数

\* 下段の数：時間外入院者数のうち休日（土曜、日曜、祝祭日）の入院者数

平成20年～平成23年当院における時間外受診者状況及び救急車等搬入、搬出状況

表2-3 平成22年 月別及び科別時間外入院者数

区分	内科	精神科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	救急科	合計
1月	25	8	0	21	12	11	14	0	21		3	2	5	28	0	0	0	1		151
	17	6	0	15	9	9	9	0	13		3	2	4	16	0	0	0	0		103
2月	15	1	0	17	4	7	10	1	12		5	0	1	26	2	2	0	1		104
	9	1	0	6	2	1	8	1	6		4	0	0	13	2	1	0	0		54
3月	22	4	0	7	4	8	8	0	12		5	0	5	19	2	2	0	0		98
	14	3	0	5	2	3	4	0	10		2	0	3	9	1	1	0	0		57
4月	17	6	0	14	14	6	8	0	14		1	0	1	28	0	3	0	2		114
	10	2	0	7	7	2	5	0	7		1	0	1	11	0	3	0	2		58
5月	33	1	0	21	9	10	7	1	14		0	0	5	26	1	5	0	2		135
	24	0	0	16	6	5	3	0	5		0	0	2	17	0	3	0	2		83
6月	33	3	0	17	8	7	13	1	15		3	4	1	26	0	2	0	10		143
	14	1	0	6	5	3	6	1	5		1	4	0	13	0	1	0	2		62
7月	33	4	0	16	14	9	8	4	16		3	1	5	25	0	8	0	6		152
	14	2	0	10	6	4	7	3	13		1	1	2	11	0	6	0	2		82
8月	27	4	0	13	5	1	6	2	16		2	0	6	27	2	3	0	2		116
	14	1	0	9	4	0	6	1	10		0	0	4	12	1	1	0	0		63
9月	24	8	0	10	9	6	18	2	10		4	1	9	30	0	4	0	5		140
	15	4	0	4	3	4	10	0	5		3	1	4	14	0	2	0	2		71
10月	27	3	0	16	7	9	5	3	8	0	2	1	4	32	0	5	0	4	16	142
	13	3	0	6	0	7	2	2	4	0	1	1	3	13	0	3	0	1	12	71
11月	11	2	0	8	4	5	5	1	14	0	3	1	2	5	0	0	0	0	49	110
	3	1	0	5	2	3	3	0	4	0	1	1	0	2	0	0	0	0	21	46
12月	14	5	0	17	8	6	6	3	21	0	1	1	2	8	0	1	0	0	39	132
	9	3	0	7	7	2	2	0	16	0	0	1	1	3	0	0	0	0	19	70
合計	281	49	0	177	98	85	108	18	173	0	32	11	46	280	7	35	0	33	104	1537
	156	27	0	96	53	43	65	8	98	0	17	11	24	134	4	21	0	11	52	820
月平均	23.4	4.1	0.0	14.8	8.2	7.1	9.0	1.5	14.4	0.0	2.7	0.9	3.8	23.3	0.6	2.9	0.0	2.8	8.7	128.1
	13.0	2.3	0.0	8.0	4.4	3.6	5.4	0.7	8.2	0.0	1.4	0.9	2.0	11.2	0.3	1.8	0.0	0.9	4.3	68.3
割合	18.3%	3.2%	0.0%	11.5%	6.4%	5.5%	7.0%	1.2%	11.3%	0.0%	2.1%	0.7%	3.0%	18.2%	0.5%	2.3%	0.0%	2.1%	6.8%	100.0%
	19.0%	3.3%	0.0%	11.7%	6.5%	5.2%	7.9%	1.0%	12.0%	0.0%	2.1%	1.3%	2.9%	16.3%	0.5%	2.6%	0.0%	1.3%	6.3%	100.0%

\* 上段の数：時間外入院者数

\* 下段の数：時間外入院者数のうち休日（土曜、日曜、祝祭日）の入院者数

表2-4 平成23年 月別及び科別時間外入院者数

区分	内科	精神科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	救急科	合計	
1月	21	2	0	10	5	8	8	0	13	2	4	0	7	6	1	0	0	0	22	109	
	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	70	75
2月	12	0	1	10	1	5	6	0	10	0	2	2	4	3	0	2	0	0	28	86	
	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	49	52	
3月	16	3	0	8	7	5	6	0	17	0	2	1	4	7	0	1	0	0	33	110	
	7	0	0	3	5	2	5	0	9	0	1	1	2	1	0	1	0	0	18	55	
4月	17	3	0	14	7	12	6	1	15	0	1	1	5	21	0	1	0	0	20	124	
	12	1	0	9	3	5	4	1	8	0	0	1	4	10	0	1	0	0	10	69	
5月	28	1	0	18	9	12	4	1	15	0	4	0	8	26	0	2	0	0	19	147	
	21	0	0	14	6	5	2	0	9	0	4	0	8	14	0	0	0	0	4	87	
6月	5	0	0	7	2	2	3	1	8	0	1	0	2	27	0	0	0	0	61	119	
	2	0	0	5	1	2	2	1	4	0	0	0	1	12	0	0	0	0	27	57	
7月	3	6	0	4	4	1	2	0	7	0	2	0	2	31	0	0	0	0	79	141	
	2	1	0	3	2	1	2	0	4	0	2	0	0	15	0	0	0	0	48	80	
8月	16	3	0	9	2	2	11	1	11	1	2	0	4	24	0	0	0	0	54	140	
	6	1	0	3	0	0	3	1	6	0	2	0	1	6	0	0	0	0	15	44	
9月	5	6	0	9	2	3	4	0	10	0	2	2	3	24	0	3	0	0	68	141	
	4	3	0	0	2	2	0	0	7	0	0	2	2	8	0	2	0	0	34	66	
10月	5	1	0	6	0	0	4	0	5	0	2	0	1	22	0	0	0	0	96	142	
	2	0	0	4	0	0	0	0	3	0	1	0	1	8	0	0	0	0	62	81	
11月	5	2	0	4	4	3	4	0	2	0	1	0	2	29	0	2	0	0	85	143	
	2	0	0	2	3	1	2	0	0	0	1	0	2	13	0	1	0	0	48	75	
12月	0	1	0	1	5	1	0	0	1	0	1	0	3	18	0	1	0	0	116	148	
	0	1	0	1	5	1	0	0	0	0	1	0	3	7	0	1	0	0	60	80	
合計	133	28	1	100	48	54	58	4	114	3	24	6	45	238	1	12	0	0	681	1550	
	58	8	0	45	28	20	20	3	50	0	13	4	25	96	0	6	0	0	445	821	
月平均	11.1	2.3	0.1	8.3	4.0	4.5	4.8	0.3	9.5	0.3	2.0	0.5	3.8	19.8	0.1	1.0	0.0	0.0	56.8	129.2	
	4.8	0.7	0.0	3.8	2.3	1.7	1.7	0.3	4.2	0.0	1.1	0.3	2.1	8.0	0.0	0.5	0.0	0.0	37.1	68.4	
割合	8.6%	1.8%	0.1%	6.5%	3.1%	3.5%	3.7%	0.3%	7.4%	0.2%	1.5%	0.4%	2.9%	15.4%	0.1%	0.8%	0.0%	0.0%	43.9%	100.0%	
	7.1%	1.0%	0.0%	5.5%	3.4%	2.4%	2.4%	0.4%	6.1%	0.0%	1.6%	0.5%	3.0%	11.7%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	54.2%	100.0%	

\* 上段の数：時間外入院者数

\* 下段の数：時間外入院者数のうち休日（土曜、日曜、祝祭日）の入院者数

表3-1 平成20年 月別及び地域別時間外受診者数

区分	砂川市	上砂川町	歌志内市	奈井江町	新十津川町	芦別市	赤平市	浦臼町	滝川市	その他	合計
1月	298	54	76	66	30	18	31	25	94	116	808
2月	296	63	63	47	28	12	28	27	104	56	724
3月	283	69	73	63	35	9	21	27	84	64	728
4月	268	66	39	56	37	17	37	20	86	62	688
5月	330	67	56	80	52	14	24	39	88	98	848
6月	268	58	50	75	44	14	20	24	79	69	701
7月	266	59	57	52	32	13	18	15	83	77	672
8月	255	69	61	72	35	13	28	16	104	131	784
9月	260	62	61	61	33	8	19	19	79	75	677
10月	252	61	53	44	34	19	26	19	69	56	633
11月	287	75	46	56	37	21	36	20	91	70	739
12月	276	70	65	65	46	13	19	20	84	79	737
合計	3,339	773	700	737	443	171	307	271	1,045	953	8,739
月平均	278.3	64.4	58.3	61.4	36.9	14.3	25.6	22.6	87.1	79.4	728.3
割合	38.2%	8.8%	8.0%	8.4%	5.1%	2.0%	3.5%	3.1%	12.0%	10.9%	100.0%

表3-2 平成21年 月別及び地域別時間外受診者数

区分	砂川市	上砂川町	歌志内市	奈井江町	新十津川町	芦別市	赤平市	浦臼町	滝川市	その他	合計
1月	334	81	82	65	39	19	26	26	110	129	911
2月	216	56	34	50	24	16	21	13	82	58	570
3月	267	33	41	71	44	10	35	16	83	58	658
4月	261	65	55	66	55	13	25	22	79	64	705
5月	461	76	75	68	61	22	31	22	114	101	1,031
6月	282	90	37	49	34	15	20	22	88	58	695
7月	267	69	56	50	35	24	20	23	84	66	694
8月	266	46	48	54	29	19	27	16	100	110	715
9月	299	69	51	66	50	13	25	21	96	102	792
10月	676	101	64	119	78	28	18	39	114	78	1,315
11月	344	63	79	69	42	17	28	40	105	63	850
12月	291	100	47	49	32	22	23	28	85	99	776
合計	3,964	849	669	776	523	218	299	288	1,140	986	9,712
月平均	330.3	70.8	55.8	64.7	43.6	18.2	24.9	24.0	95.0	82.2	809.3
割合	40.8%	8.7%	6.9%	8.0%	5.4%	2.2%	3.1%	3.0%	11.7%	10.2%	100.0%

表3-3 平成22年 月別及び地域別時間外受診者数

区分	砂川市	上砂川町	歌志内市	奈井江町	新十津川町	芦別市	赤平市	浦臼町	滝川市	その他	合計
1月	309	58	48	73	43	29	30	28	91	104	813
2月	229	47	38	52	34	14	23	19	61	57	574
3月	220	55	44	63	33	17	19	19	85	62	617
4月	257	76	45	47	35	14	27	16	91	64	672
5月	375	75	75	83	48	27	29	26	90	105	933
6月	285	57	55	51	43	20	34	21	68	91	725
7月	289	74	49	79	41	20	17	18	95	87	769
8月	300	54	51	54	39	14	20	19	67	115	733
9月	271	54	54	63	39	11	29	25	86	75	707
10月	301	75	47	47	41	15	24	22	61	76	709
11月	225	46	49	41	47	21	19	13	69	61	591
12月	326	72	59	72	50	15	18	27	79	75	793
合計	3,387	743	614	725	493	217	289	253	943	972	8,636
月平均	282.3	61.9	51.2	60.4	41.1	18.1	24.1	21.1	78.6	81.0	719.7
割合	39.2%	8.6%	7.1%	8.4%	5.7%	2.5%	3.3%	2.9%	10.9%	11.3%	100.0%

表3-4 平成23年 月別及び地域別時間外受診者数

区分	砂川市	上砂川町	歌志内市	奈井江町	新十津川町	芦別市	赤平市	浦臼町	滝川市	その他	合計
1月	318	88	45	75	43	24	24	26	97	110	850
2月	237	44	38	49	35	5	29	17	60	62	576
3月	258	61	65	67	53	8	22	19	93	80	726
4月	302	66	57	77	48	27	28	18	69	81	773
5月	327	89	75	82	54	24	48	30	118	120	967
6月	290	83	53	49	34	25	33	22	85	79	753
7月	320	80	66	76	52	29	23	42	82	108	878
8月	283	70	47	64	41	14	35	37	76	106	773
9月	252	73	45	67	38	14	32	31	85	91	728
10月	270	76	42	83	38	30	29	18	84	96	766
11月	257	68	39	45	32	9	29	22	80	89	670
12月	237	53	58	87	43	14	37	21	89	110	749
合計	3,351	851	630	821	511	223	369	303	1,018	1,132	9,209
月平均	279.3	70.9	52.5	68.4	42.6	18.6	30.8	25.3	84.8	94.3	767.4
割合	36.4%	9.2%	6.8%	8.9%	5.5%	2.4%	4.0%	3.3%	11.1%	12.3%	100.0%

平成20年～平成23年当院における時間外受診者状況及び救急車等搬入、搬出状況

表4-1 平成20年 救急車による搬入状況

区分	内科	精神科	神内	経科	循環器	環科	小児科	外科	整外	形科	形外	成科	脳神経	外科	心臓血管	外科	皮膚科	泌尿	産人	婦科	眼科	耳鼻	咽喉科	放線	射科	麻酔科	合計
1月	55	12			34	1	3	53	3	32					2	2	3	1				11			4	216	
2月	41	11			27	1	5	33	5	47					4	1	8	4				7			3	197	
3月	40	12	1		26	3	3	33	6	49					1		6		1			5			5	191	
4月	51	8			30	3	2	28	8	29					1	2	3	3				5			5	178	
5月	53	16			25	6	4	23	5	34					1		4	3				17				191	
6月	45	8	1		18	5	4	21	4	31					3		4	1				8			2	155	
7月	50	6			23	3	4	22	6	26					2	1	6	1	2			10			1	163	
8月	43	10			34	7	7	51	9	57					4	1	7	2				12			2	246	
9月	48	6			28	3	2	34	7	37						1	3	3				14			7	193	
10月	43	8			34	3	9	20	9	38					5		1	2	1			6			3	182	
11月	41	10			23	3	4	47	5	43					1	2	7	1				10			7	204	
12月	39	5	1		42	5	2	31	5	39					1		8	1				8			2	189	
合計	549	112	3		344	43	49	396	72	462					25	10	60	22	4			113	0		41	2,305	
月平均	45.8	9.3	0.3		28.7	3.6	4.1	33.0	6.0	38.5					2.1	0.8	5.0	1.8	0.3			9.4	0.0		3.4	192.1	
割合	23.8%	4.9%	0.1%		14.9%	1.9%	2.1%	17.2%	3.1%	20.0%					1.1%	0.4%	2.6%	1.0%	0.2%			4.9%	0.0%		1.8%	100.0%	

表4-2 平成21年 救急車による搬入状況

区分	内科	精神科	神内	経科	循環器	環科	小児科	外科	整外	形科	形外	成科	脳神経	外科	心臓血管	外科	皮膚科	泌尿	産人	婦科	眼科	耳鼻	咽喉科	放線	射科	麻酔科	合計
1月	45	8			35	1	5	24	7	42					3	1	3	4				14			1	193	
2月	31	8			28	1	5	34	2	33					2		4	4				9			2	163	
3月	34	19	0		25	6	4	17	7	23					4	0	7					9				155	
4月	40	16			25	1	3	24	10	44					1		3					7			4	178	
5月	40	6			29	1	5	42	6	29					1	1	3	2				8			2	175	
6月	39	13			20	9	1	28	6	24					3		6	4				10				163	
7月	31	18	1		32	3	4	16	9	24					3	1	4	3	1			12			5	167	
8月	41	9			25	3	2	40	5	26					2	1	5	2				13			2	176	
9月	39	11			19	2	5	29	6	34					2	2	3	1				8			2	163	
10月	51	12			22	8	3	39	9	27							6	1	1			6			3	188	
11月	41	9	1		30	4	3	24	4	32					2	0	4	0	0	9	0	9	0	5		168	
12月	41	8	0		23	3	6	37	6	43					8	1	1				1	13	0	5		196	
合計	473	137	2		313	42	46	354	77	381					31	7	49	21	3			118	0		31	2,085	
月平均	39.4	11.4	0.2		26.1	3.5	3.8	29.5	6.4	31.8					2.6	0.6	4.1	1.8	0.3			9.8	0.0		2.6	173.8	
割合	22.7%	6.6%	0.1%		15.0%	2.0%	2.2%	17.0%	3.7%	18.3%					1.5%	0.3%	2.4%	1.0%	0.1%			5.7%	0.0%		1.5%	100.0%	

表4-3 平成22年 救急車による搬入状況

区分	内科	精神科	神内	経科	循環器	環科	小児科	外科	整外	形科	形外	成科	脳神経	外科	呼吸器	心臓血管	外科	皮膚科	泌尿	産人	婦科	眼科	耳鼻	咽喉科	放線	射科	麻酔科	救急科	合計
1月	33	10	0		37	4	5	39	3	33						3	3	4	5	0		8		0	8		8	195	
2月	34	4	0		28	2	6	42	5	22						9	1	7	0	0		17		0	9		9	186	
3月	36	7	1		16	3	13	30	9	41						1	0	3	1	1		15		0	4		4	181	
4月	34	11	0		26	6	3	29	4	31						4	0	5	1	0		8		0	8		8	170	
5月	42	7	0		27	4	1	26	5	30						2	0	5	6	0		15		0	6		6	176	
6月	43	13	0		32	7	6	25	3	37						5	1	4	4	0		5		0	36		221		
7月	47	9	0		26	14	10	28	6	23						6	0	5	1	0		19		0	30		224		
8月	46	9	0		28	1	6	30	16	35						2	1	5	3	1		6		0	29		218		
9月	59	14	0		20	5	3	26	4	24						8	1	10	5	0		9		0	35		223		
10月	36	7	1		24	4	3	14	1	18						2	0	1	2	0		5		0	12	50	180		
11月	21	2	0		17	3	3	9	3	14						5	2	0	2	0		3		0	0	95	179		
12月	18	3	0		27	1	2	9	2	22						3	1	2	1	0		1		0	0	122	214		
合計	449	96	2		308	54	61	307	61	330					0	50	10	51	31	2		111	0		177	267	2,367		
月平均	37.4	8.0	0.2		25.7	4.5	5.1	25.6	5.1	27.5					0.0	4.2	0.8	4.3	2.6	0.2		9.3	0.0		14.8	66.8	197.3		
割合	19.0%	4.1%	0.1%		13.0%	2.3%	2.6%	13.0%	2.6%	13.9%					0.0%	2.1%	0.4%	2.2%	1.3%	0.1%		4.7%	0.0%		7.5%	11.3%	100.0%		

表4-4 平成23年 救急車による搬入状況

区分	内科	精神科	神内	経科	循環器	環科	小児科	外科	整外	形科	形外	成科	脳神経	外科	呼吸器	心臓血管	外科	皮膚科	泌尿	産人	婦科	眼科	耳鼻	咽喉科	放線	射科	麻酔科	救急科	合計
1月	21	3	5		7	0	3	9	1	21						5	1	3	3	0		1		0	0	0	101	185	
2月	23	1	0		13	0	4	13	1	16						4	0	3	2	0		1		0	0	0	107	188	
3月	20	0	0		10	2	2	10	0	14						5	1	2	2	0		0		0	0	0	134	202	
4月	13	3	0		15	3	8	10	2	16						0	0	4	0	0		0		0	0	0	77	151	
5月	30	4	2		21	2	4	14	2	17						4	0	8	5	0		1		0	0	120	234		
6月	11	3	0		12	1	2	10	0	14						1	0	2	4	0		0		0	0	0	133	193	
7月	7	3	0		6	1	4	5	0	14						2	0	0	1	0		2		0	0	0	161	206	
8月	20	2	0		17	3	6	20	1	14						2	0	3	1	0		3		0	0	0	119	211	
9月	11	6	0		19	0	7	9	0	12						3	0	5	1	0		5		0	0	0	109	187	
10月	10	2	0		14	0	5	8	0	13						5	0	0	2	0		3		0	2	123	187		
11月	8	3	0		11	1	2	12	0	7						3	0	3	2	0		0		0	0	0	117	169	
12月	7	1	0		14	0	1	8	0	9						1	0	2	0	0		1		0	0	0	188	232	
合計	181	31	7		159	13	48	128	7	167					1	35	2	35	23	0		17	0		2	1,489	2,345		
月平均	15.1	2.6	0.6		13.3	1.1	4.0	10.7	0.6	13.9					0.1	2.9	0.2	2.9	1.9	0.0		1.4	0.0		0.2	124.1	195.4		
割合	7.7%	1.3%	0.3%		6.8%	0.6%	2.0%	5.5%	0.3%	7.1%					0.0%	1.5%	0.1%	1.5%	1.0%	0.0%		0.7%	0.0%		0.1%	63.5%	100.0%		

表5-1 平成22年 ドクターヘリによる搬入状況

区分	件数	出動ヘリ	要請者	受入れ診療科	備考
10月	0	ドクターヘリによる搬入受入れ実績無し			
11月	0				
12月	0				
合計	0				

表5-2 平成23年 ドクターヘリによる搬入状況

区分	件数	出動ヘリ	要請者	受入れ診療科	備考
1月	0				
2月	4	旭川赤十字病院	芦別消防	救急科	
		旭川赤十字病院	旭川赤十字病院	"	
		旭川赤十字病院	旭川赤十字病院	"	
		旭川赤十字病院	旭川消防	"	
3月	2	旭川赤十字病院	深川消防	"	
		手稲溪仁会病院	新十津川消防	"	
4月	0				
5月	0				
6月	0				
7月	2	手稲溪仁会病院	深川消防	"	
		手稲溪仁会病院	深川消防	"	
8月	1	手稲溪仁会病院	美唄消防	"	
9月	1	旭川赤十字病院	滝川消防	"	
10月	0				
11月	2	旭川赤十字病院	沼田消防	"	
		旭川赤十字病院	深川消防	"	
12月	2	旭川赤十字病院	芦別消防	"	
		旭川赤十字病院	芦別消防	"	
合計	14				

表6-1 平成20年 救急車による搬出状況

搬出先	科別	件数	備考
札幌医科大学附属病院	内科	1	
	整形外科	1	
北海道立子ども総合医療・療育センター(札幌市)	小児科	2	
市立札幌病院	産婦人科	1	
手稲溪仁会病院(札幌市)	内科	1	
北海道社会保険病院(札幌市)	産婦人科	4	
井上病院(札幌市)	内科	1	
	脳神経外科	1	
中村記念病院(札幌市)	精神神経科	1	
天使病院(札幌市)	産婦人科	1	
札幌東徳洲会病院	整形外科	1	
旭川厚生病院	産婦人科	2	
	整形外科	1	
旭川赤十字病院	内科	1	
	脳神経外科	1	
北海道中央労災病院せき損センター(美瑛市)	内科	1	
	整形外科	3	
	脳神経外科	2	
北海道中央労災病院(岩見沢市)	内科	1	
	精神神経科	1	
	麻酔科	1	
滝川脳神経外科病院	循環器科	2	
	脳神経外科	3	
その他	精神神経科	1	
	外科	1	
	整形外科	1	
	脳神経外科	1	
	心臓血管外科	1	
合計		37	

表6-2 平成21年 救急車による搬出状況

搬出先	科別	件数	備考
札幌医科大学附属病院	内科	1	
	皮膚科	1	
	麻酔科	1	
北海道立子ども総合医療・療育センター(札幌市)	小児科	3	
	脳神経外科	1	
市立札幌病院	産婦人科	1	
手稲溪仁会病院(札幌市)	循環器科	1	
札幌厚生病院	内科	1	
時計台記念病院(札幌市)	眼科	1	
札幌東徳洲会病院	整形外科	1	
札幌花園病院	精神神経科	1	
旭川厚生病院	産婦人科	1	
	精神神経科	1	
旭川赤十字病院	脳神経外科	1	
	循環器科	1	
	整形外科	2	
北海道中央労災病院せき損センター(美瑛市)	麻酔科	1	
	整形外科	1	
恵み野病院(恵庭市)	整形外科	1	
滝川脳神経外科病院	麻酔科	1	
滝川市立病院	内科	1	
	精神神経科	1	
市立赤平総合病院	内科	1	
	整形外科	1	
奈井江町立国保病院	内科	1	
その他	内科	2	
	脳神経外科	1	
	産婦人科	1	
	耳鼻咽喉科	1	
合計		32	

表6-4 平成22年 救急車による搬出状況

搬出先	科別	件数	備考
北海道大学病院	循環器内科	1	
	小児科	1	
札幌医科大学附属病院	心臓血管外科	1	
	麻酔科	1	
北海道立子ども総合医療・療育センター(札幌市)	小児科	5	
	心臓血管外科	1	
市立札幌病院	産婦人科	1	
札幌厚生病院	小児科	1	
井上病院(札幌市)	循環器科	1	
旭川医科大学病院	小児科	1	
	麻酔科	1	
旭川厚生病院	産婦人科	4	
旭川赤十字病院	神経内科	2	
	泌尿器科	1	
	耳鼻咽喉科	1	
	救急科	1	
北海道中央労災病院せき損センター(美唄市)	整形外科	2	
北海道中央労災病院(岩見沢市)	内科	1	
東ヶ丘病院(深川市)	精神神経科	1	
市立美唄病院	内科	1	
その他	内科	2	
	精神神経科	1	
	整形外科	1	
	形成外科	1	
	脳神経外科	1	
合計		35	

表6-4 平成23年 救急車による搬出状況

搬出先	科別	件数	備考
北海道大学病院	産婦人科	2	
	循環器科	1	
札幌医科大学附属病院	内科	1	
	神経内科	1	
	小児科	1	
北海道立子ども総合医療・療育センター(札幌市)	小児科	2	
市立札幌病院	循環器科	1	
	心臓血管外科	1	
	産婦人科	2	
札幌北楡病院	内科	1	
時計台記念病院(札幌市)	循環器科	1	
	眼科	1	
中村記念病院(札幌市)	脳神経外科	1	
井上病院(札幌市)	内科	1	
	循環器科	1	
	心臓血管外科	1	
	救急科	1	
N T T 東日本札幌病院	小児科	1	
旭川医科大学病院	小児科	1	
旭川厚生病院	産婦人科	2	
旭川赤十字病院	脳神経外科	1	
北海道中央労災病院せき損センター(美唄市)	循環器科	1	
	整形外科	3	
	救急科	2	
その他	内科	3	
	外科	1	
	整形外科	2	
	心臓血管外科	1	
	麻酔科	1	
	救急科	5	
合計		44	

## 統計

## 過去4年間の砂川市立病院事業収支状況

Report of economic status in the Sunagawa City Medical Center for last 4 years

堀下 直樹  
Naoki Horishita阿部 雅和  
Masakazu Abe

## 要 旨

当院における過去4年間の病院事業収支を報告する。

## 1. 病院経営状況

## (1) 収益的収支 (3条)

(単位：円)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
収 入	病院事業収益	10,380,559,588	9,788,419,673	10,316,074,307	10,968,588,842
	医業収益	9,322,805,959	9,020,323,544	9,405,524,679	9,961,141,331
	医業外収益	957,114,550	668,723,552	814,964,423	908,540,318
	看護専門学校収益	100,139,418	97,884,064	93,853,462	94,702,382
	特別利益	499,661	1,488,513	1,731,743	4,204,811
支 出	病院事業費用	10,517,192,382	9,742,701,173	11,667,997,116	12,426,929,223
	医業費用	10,360,678,339	9,599,559,341	10,260,259,893	11,469,519,126
	医業外費用	48,435,905	41,065,575	103,823,858	146,758,711
	看護専門学校費用	102,703,438	98,091,122	96,935,243	102,787,052
	特別損失	5,374,700	3,985,135	1,206,978,122	707,864,334
純 利 益		△ 136,632,794	45,718,500	△ 1,351,922,809	△ 1,458,340,381
経 常 利 益		△ 131,757,755	48,215,122	△ 146,676,430	△ 754,680,858

## (2) 資本的収支(4条)

(単位:円)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
収 入	資本的収入	810,486,000	4,367,368,620	10,388,745,600	2,801,156,600
	企業債	595,100,000	3,797,800,000	9,833,900,000	2,308,600,000
	投資償還金	7,683,000	8,792,620	11,431,600	12,691,600
	補助金	63,907,000	433,190,000	417,708,000	429,677,000
	出資金	142,376,000	125,266,000	103,276,000	44,569,000
	寄附金	1,420,000	2,320,000	22,430,000	5,619,000
支 出	資本的支出	1,635,836,176	4,700,696,768	11,414,477,435	3,240,930,122
	建設改良費	1,128,005,563	4,250,409,325	10,645,165,064	2,786,304,802
	企業債償還金	495,134,613	439,523,443	761,170,371	444,827,320
	投資	12,696,000	10,764,000	8,142,000	9,798,000
収支差		△ 825,350,176	△ 333,328,148	△ 1,025,731,835	△ 439,773,522
補 填 財 源	当年度調整額	598,971	4,653,725	12,782,364	3,582,793
	過年度留保資金	824,451,205	328,674,423	1,010,649,471	436,190,729
	繰越利益剰余金処分額	300,000	-	2,300,000	-

## (3) 収益的収支比率

(単位:%)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
総収支比率	98.7	100.5	88.4	88.3
経常収支比率	98.7	100.5	98.6	93.6
医業収支比率	90.0	94.0	91.7	86.8

## (4) 人件費比率(医業収益対職員給与費)

(単位:%/円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
人件費比率	55.9	58.9	58.9	57.9
給与費	5,208,344,737	5,313,750,733	5,543,447,713	5,769,193,553

## (5) 企業債の状況

(単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
前年度末残高	2,018,193,858	2,118,159,245	5,476,435,802	14,549,165,431
当年度借入額	595,100,000	3,797,800,000	9,833,900,000	2,308,600,000
当年度償還額	495,134,613	439,523,443	761,170,371	444,827,320
当年度残高	2,118,159,245	5,476,435,802	14,549,165,431	16,412,938,111

## 2. 業 務 量

## (1) 患者数

(単位：人)

		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		
		患者数	一日平均	患者数	一日平均	患者数	一日平均	患者数	一日平均	
入	内 科	34,312	94.0	26,354	72.2	30,378	83.2	31,083	84.9	
	精 神 科	27,736	76.0	29,103	79.7	26,326	72.1	25,639	70.1	
	神 経 内 科	7	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	循 環 器 内 科	7,979	21.9	8,345	22.9	8,923	24.4	12,119	33.1	
	小 児 科	3,445	9.4	2,961	8.1	2,651	7.3	2,699	7.4	
	外 科	11,467	31.4	11,163	30.6	10,138	27.8	10,892	29.8	
	整 形 外 科	16,388	44.9	16,689	45.7	16,975	46.5	17,220	47.0	
	形 成 外 科	1,338	3.7	1,525	4.2	3,038	8.3	3,775	10.3	
	脳 神 経 外 科	10,253	28.1	9,728	26.7	9,682	26.5	9,331	25.5	
	呼 吸 器 外 科	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	
	心 臓 血 管 外 科	4,641	12.7	5,279	14.5	4,899	13.4	4,690	12.8	
	皮 膚 科	616	1.7	587	1.6	864	2.4	1,066	2.9	
	泌 尿 器 科	8,148	22.3	8,700	23.8	8,200	22.5	8,310	22.7	
	産 婦 人 科	8,852	24.3	9,685	26.5	9,151	25.1	9,415	25.7	
	眼 科	1,309	3.6	1,033	2.8	955	2.6	933	2.5	
	耳 鼻 咽 喉 科	3,047	8.3	3,817	10.5	3,072	8.4	2,881	7.9	
	放 射 線 科	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	
	院	放 射 線 診 断 科	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0
		放 射 線 治 療 科	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0
		麻 酔 科	121	0.3	150	0.4	468	1.3	443	1.2
救 急 科		-	-	-	-	918	2.5	3,247	8.9	
合 計		139,659	382.6	135,119	370.2	136,638	374.4	143,743	392.7	
診 療 実 日 数			365		365		365		366	
外	内 科	44,986	183.6	44,953	185.0	42,007	174.3	41,088	167.7	
	精 神 科	24,405	99.6	23,815	98.0	23,052	95.7	23,033	94.0	
	神 経 内 科	1,712	7.0	1,824	7.5	1,745	7.2	1,963	8.0	
	循 環 器 内 科	19,483	79.5	20,023	82.4	20,296	84.2	22,512	91.9	
	小 児 科	15,941	65.1	15,735	64.8	15,041	62.4	14,587	59.5	
	外 科	7,688	31.4	7,989	32.9	7,573	31.4	7,883	32.2	
	整 形 外 科	36,246	147.9	37,838	155.7	38,287	158.9	38,194	155.9	
	形 成 外 科	6,554	26.8	6,166	25.4	6,165	25.6	5,693	23.2	
	脳 神 経 外 科	6,086	24.8	6,190	25.5	6,264	26.0	5,825	23.8	
	呼 吸 器 外 科	-	-	-	-	5	0.0	0	0.0	
	心 臓 血 管 外 科	4,073	16.6	3,871	15.9	3,642	15.1	3,527	14.4	
	皮 膚 科	19,080	77.9	19,445	80.0	20,246	84.0	21,935	89.5	
	泌 尿 器 科	27,162	110.9	28,143	115.8	26,651	110.6	26,190	106.9	
	産 婦 人 科	16,226	66.2	15,967	65.7	15,897	66.0	14,381	58.7	
	眼 科	13,208	53.9	12,380	50.9	12,704	52.7	12,303	50.2	
	耳 鼻 咽 喉 科	11,272	46.0	11,259	46.3	11,250	46.7	9,870	40.3	
	放 射 線 科	888	3.6	1,219	5.0	-	-	-	-	
	来	放 射 線 診 断 科	-	-	-	-	0	-	42	0.2
		放 射 線 治 療 科	-	-	-	-	1,442	6.0	1,747	7.1
		麻 酔 科	662	2.7	524	2.2	636	2.6	381	1.6
救 急 科		-	-	-	-	3,053	12.7	7,780	31.8	
合 計		255,672	1,043.6	257,341	1,059.0	255,956	1,062.1	258,934	1,056.9	
診 療 実 日 数			245		243		241		245	

## (2) 入院・外来患者数と1日平均単価

(単位：人/円)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
入院	患者延数	139,659	135,119	136,638	143,743
	診療実日数	365	365	365	366
	一日平均患者数	382.6	370.2	374.4	392.7
	一日平均単価	45,605	47,177	48,652	48,803
外来	患者延数	255,672	257,341	255,956	258,934
	診療実日数	245	243	241	245
	一日平均患者数	1,043.6	1,059.0	1,062.1	1,056.9
	一日平均単価	11,053	9,700	10,107	10,569
入院収益		6,369,148,328	6,374,568,352	6,647,730,292	7,015,104,946
外来収益		2,825,860,848	2,496,215,043	2,586,920,281	2,736,758,904

## (3) 病床利用状況

(単位：床/%/人)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
一般	病床数	408	408	408	408
	病床利用率	74.2	70.6	73.3	78.2
	年延入院患者数	110,551	105,162	109,180	116,812
	年延病床数	148,920	148,920	148,920	149,328
精神	病床数	103	103	103	88
	病床利用率	73.8	77.4	70.0	72.5
	年延入院患者数	27,736	29,103	26,326	25,639
	年延病床数	37,595	37,595	37,595	35,358
結核	病床数	6	6	6	6
	病床利用率	62.6	39.0	51.7	58.8
	年延入院患者数	1,372	854	1,132	1,292
	年延病床数	2,190	2,190	2,190	2,196
感染	病床数	4	4	4	4
	病床利用率	0	0	0	0
	年延入院患者数	0	0	0	0
	年延病床数	1,460	1,460	1,460	1,464
合計	病床数	521	521	521	506
	病床利用率	73.4	71.1	71.9	76.3
	年延入院患者数	139,659	135,119	136,638	143,743
	年延病床数	190,165	190,165	190,165	188,346

※平成23年度精神病床数 10/28~15床減

## 3. 職員の状況

## (1) 部門別職員数

(単位：人)

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
医 師	職 員	53	58	64	67
	そ の 他	20	19	18	18
看 護 師	職 員	358	371	378	390
	そ の 他	45	44	38	38
医 療 技 術 員	職 員	84	81	84	87
	そ の 他	2	3	5	6
事 務 員	職 員	38	38	38	35
	そ の 他	16	10	24	30
労 務 員	職 員	44	40	37	36
	そ の 他	45	54	63	79
計	職 員	577	588	601	615
	そ の 他	128	130	148	171
看 護 専 門 校 学 校	職 員	10	10	9	10
	そ の 他	1	1	2	2
合 計	職 員	587	598	610	625
	そ の 他	129	131	150	173
総 合 計		716	729	760	798

## 統計

## 入院患者の満足度調査結果

Satisfaction survey results from inpatients

大宮 洋子 Youko Oomiya	池内 仁美 Hitomi Ikeuti	菅野 宏美 Hiromi Sugano	高橋 香里 Kaori Takahashi
長江由里恵 Yurie Nagae	渡邊千恵子 Chieko Watanabe	狩野真澄美 Masumi Karino	

## 要 旨

当院では、患者サービスの改善・向上を目指し、入院患者を対象に満足度調査を実施している。平成24年1月に新病院に移転後、2回目となる満足度調査を行った。その結果を平成22年度の結果と比較検討したので報告する。

Key words : Suicide、 a self-injurious behavior

## はじめに

当院では毎年、入院患者を対象として患者満足度調査を行っている。その結果を検討し、サービスの改善や向上に向けた取り組みを行っている。平成23年度は、新病院に移転してから2回目の満足度調査であった。そこで、平成22年度の調査結果と比較し、サービスの改善や向上が図れたのか、さらなる課題の明確化など検討したので報告する。

## I. 調査方法

アンケート用紙による調査。無記名で記入した用紙を封筒に入れ、各病棟に設置した回収ボックスに投入してもらい回収した。

- 1) 調査期間  
平成24年1月23日（月）～1月27日（金）
- 2) 調査対象  
入院している患者及び家族  
ICUを除く全病棟に、各病棟10名程度を任意に選出して配布した。
- 3) 倫理的配慮  
アンケートは全体としての統計処理を行い、個人の情報として使用するものではないことを説明した。

## II. 結果

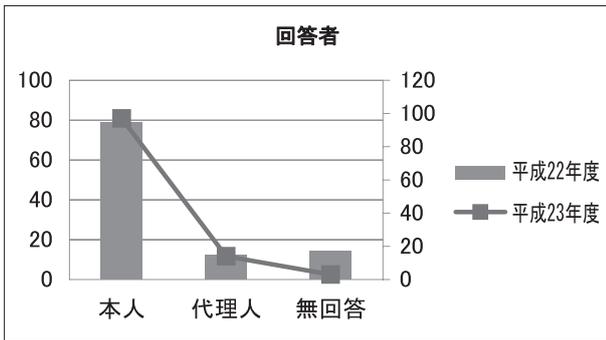
アンケート配布数は122名、回収数は114名であり、回収率は93.4%であった。

(資料参照)

## III. まとめ

1. H22年度と比較して、全体的に満足度は向上している。
2. その他の職員の態度等が気になるという指摘が増えているので、全職員に対する接遇教育を強化していく必要がある。
3. 入院案内のビデオが有効に活用されていないので、内容や閲覧方法などの検討が必要である。
4. 携帯電話に関する明確な規定がないため使用を黙認している傾向があるので、検討する必要がある。

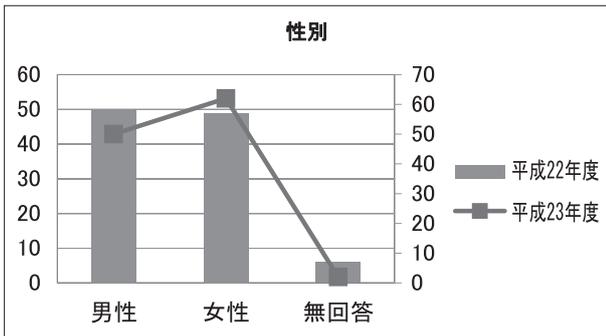
### 1. アンケート回答者



アンケートの回答者は、本人が97名で79.5%（79名で71.8%）、代理人が14名で11.5%（12名で10.9%）であり、本人の回答が約8%多かった。

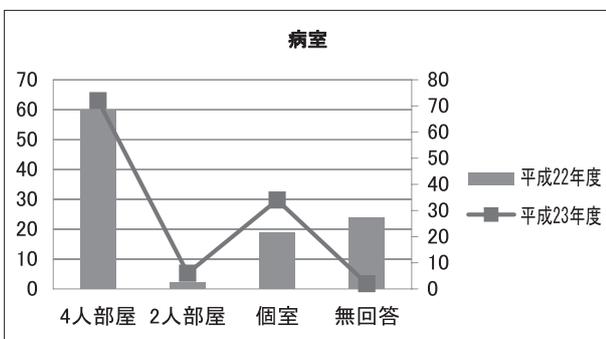
### 2. 回答者の性別

回答者の性別は男性が50名で41%（50名で45.4%）、女性が62名で50.8%（49名で44.5%）であった。H22年度はほぼ同数であったが、平成23年度は女性が約10%多かった。



### 3. 病室

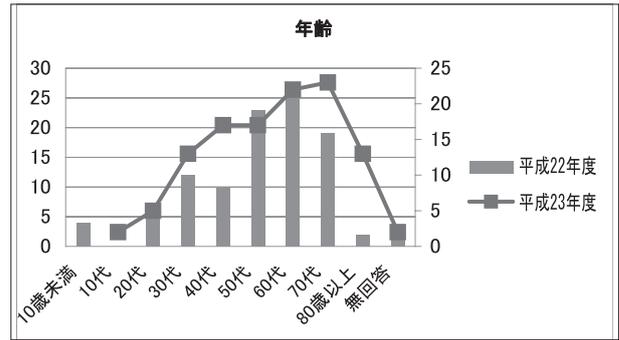
回答者が入院している病室は、4人部屋が72名で59%（60名で54.5%）、2人部屋が6名で5%（2名で1.8%）、個室が34名で27.8%（19名で17.2%）であり、個室の利用者が約10%多かった。



### 4. 回答者の年齢

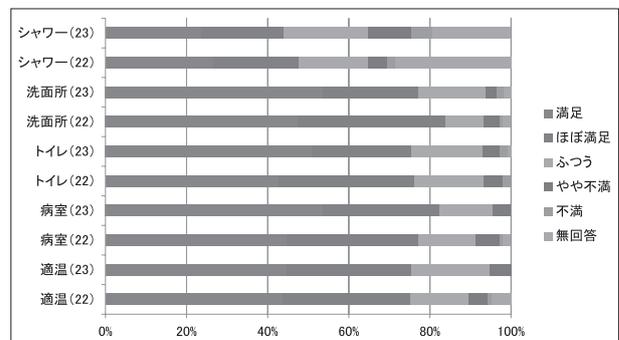
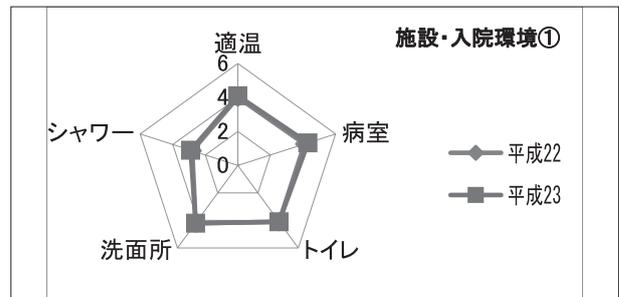
回答者の年齢は、20歳未満が2名で1.6%（4名で3.6%）、20～60代が74名で60.6%（77名で70%）、70歳以上が36

名で29.5%（21名で10%）であった。平成23年度は、20～60代が約10%少なく、70歳以上が約20%多かった。



### 1. 施設、入院環境について

1. 病室の設定温度は適温ですか？
2. 病室の清掃はいきとどいていましたか？
3. トイレの清掃はいきとどいていましたか？
4. 洗面所の清掃はいきとどいていましたか？
5. シャワー浴で満足できましたか？



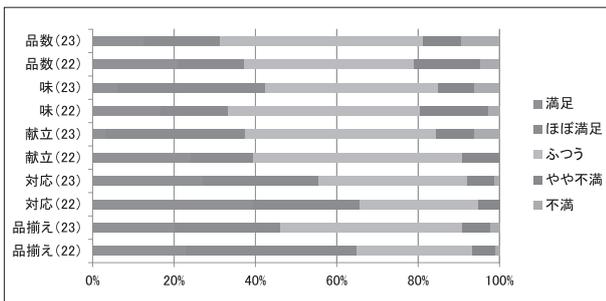
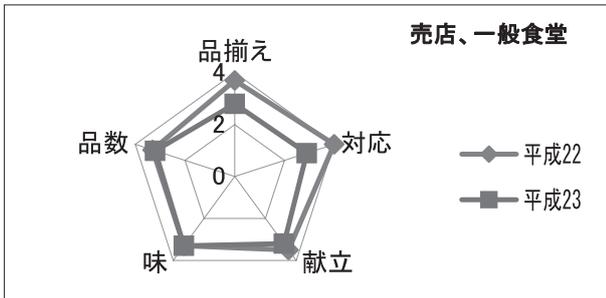
全体的に平成22年度と平成23年度では大きな変化はないが、清掃では病室・トイレ・洗面所とも満足と回答した者が若干増えて50%を超えている。シャワー浴では、満足・ほぼ満足を合わせても50%に届かず、平成23年度の方が低く、やや不満・不満と回答した者が増えている。平成23年度の回答者は70歳以上の方が平成22年度より約20%多いことから、高齢者は習慣上シャワーよりお風呂を好む傾向があるのではないかと考えられる。また、シャワー室が狭いことも原因の1つではないかと考えられる。

### 6. 売店をご利用になりましたか？

- ①品揃えはいかがですか？
- ②対応は迅速ですか？

7. 一般食堂をご利用になりましたか？

- ①献立の内容はいかがですか？
- ②味はいかがですか？
- ③料理の品数はいかがですか？



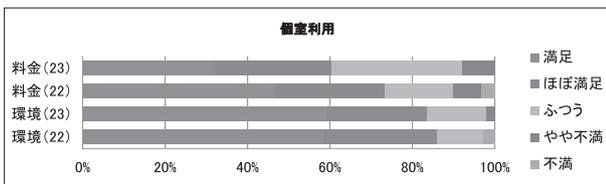
売店については、満足・ほぼ満足と回答した者が品揃えで約20%、対応で約10%減少している。平成22年度は旧病院から移転して間もない時期であり、旧病院との比較で品揃えに対する満足度が高かったと推測される。

また、意見に午後の品薄（おそらく弁当や総菜関係だと思われる）の指摘もあり、外来受診後や付き添いの家族が不便に感じていると思われる。売店の対応については特定の職員に対する指摘があった。

一般食堂については、全体的には平成22年度と大きな差はないが、満足と回答した者は約20%減少し3%にとどまっている。味は、満足・ほぼ満足を合わせて平成23年度の方が約10%増加しているが、満足だけをみると約10%減少している。

9. 個室をご利用になりましたか？

- ①個室の環境に満足されましたか？
- ②個室の料金に満足されましたか？



個室の環境については大きな変化はみられなかった。しかし、料金では満足・ほぼ満足を合わせて平成22年度は73%であったのに対し、平成23年度は60%に減少している。特に満足と回答した者が15%減少している。

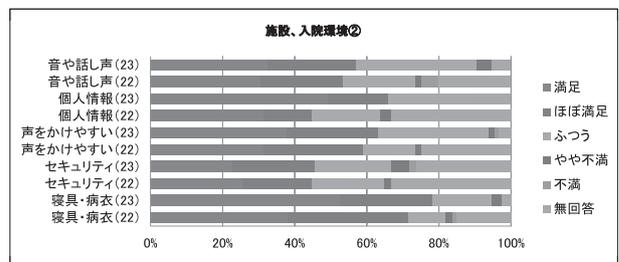
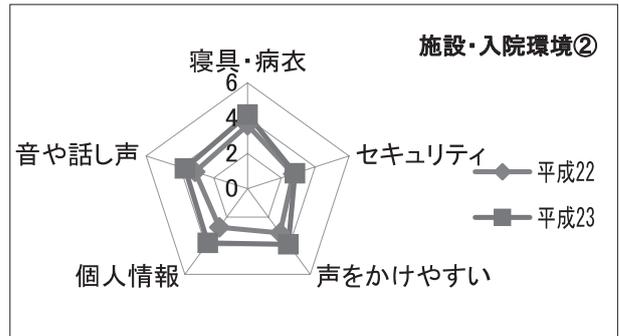
8. 寝具・病衣は清潔に保たれていましたか？

10. セキュリティカードでの出入りはいかがですか？

11. オープンカウンターで、職員に声をかけやすくなりましたか？

12. オープンカウンターで、個人の情報は守られていますか？

13. オープンカウンターからの音や話し声はいかがですか？

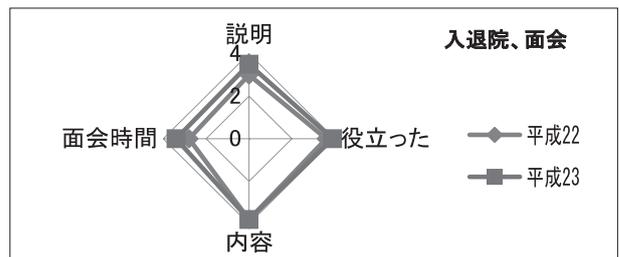


セキュリティカード以外は無回答の者が減少している。セキュリティカードは全体的には差はないが、やや不満・不満と回答した者が約2%から約7%に増加している。高齢者の回答者が多かったことも関係していると思われるが、付き添いの家族が自由に出入りできないことが不満であるとの意見もあった。

その他の項目についてはいずれも平成22年度より平均が0.6～0.9ポイント上昇しており、音や話し声以外では満足と回答した者が増加している。特に、個人情報ではやや不満・不満と回答した者はいなかった。各部署での取り組みの成果だと思われる。

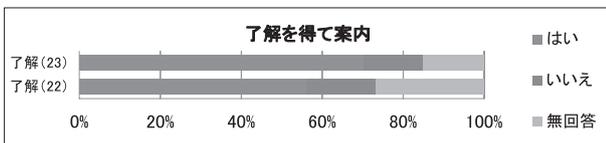
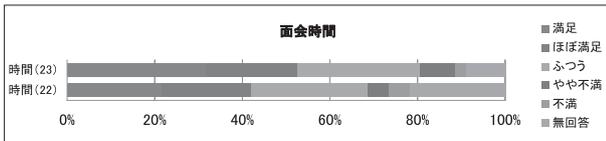
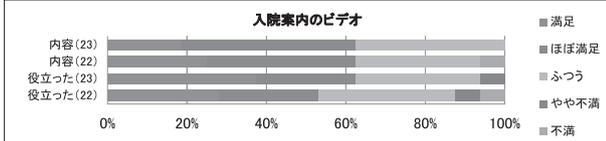
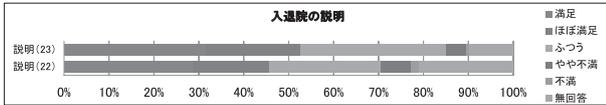
II. 入退院について、

- 1. 入退院受付での説明はいかがですか？
- 2. 病室で入退院のビデオをご覧になりましたか？
  - ①入院生活に役立ちましたか？
  - ②内容はいかがですか？



### III. 面会について

1. 面会時間はいかがですか？
2. お見舞いの方がいらした場合は、スタッフは了解を得てからご案内していますか？



ビデオの内容以外は平均で0.3～0.6ポイント上昇している。

入退院のビデオを見た人は、平成23年度では16名(14%)しかいなかった。(平成22年度は、はい・いいえでは調査していないので不明。)臨時で緊急入院の場合は患者の状態により見せていないこともあるが、定期入院では見られているとのことであり、患者が“見た”という意識になっていないのが現状のようである。外来や入退院受付で流して待ち時間に見てもらおうなど見せ方の工夫や、内容の吟味が必要であると思われる。

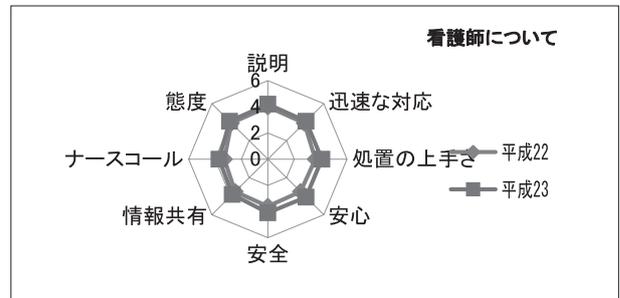
面会時間については、満足・ほぼ満足と回答した者が平成23年度は約11%上昇している。その反面、不満・やや不満と回答した者は平成22年度で約9%、平成23年度で約10.5%と若干の増加がある。

面会人は面会時間外だと分かっているが来院していることが多い。地域性で交通の便がないとか遠方から来ているといわれると許可してしまう現状がある。また、ディールームにいる患者が面会人の姿を見かけて自動ドアを開けているということもあり、患者や面会人はあまり不満を感じないのではないと思われる。理由を言ってドアを開けてもらうことが煩わしいと感じる人や時間外の面会を断られた経験のある人が不満と回答しているのではないと思われる。

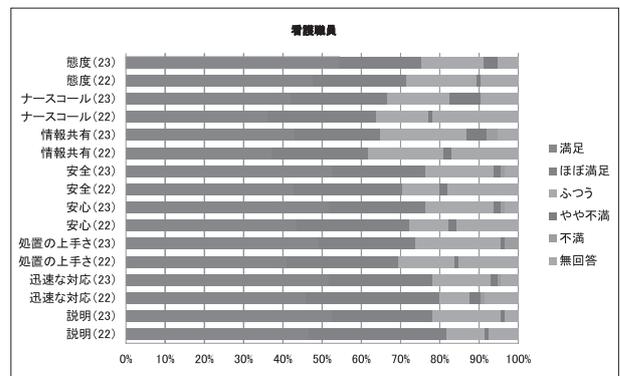
### IV. 看護師について

1. よくわかる説明をしてくれていますか？
2. 悩みや相談に迅速に対応できていますか？
3. 処置の上手さはいかがですか？

4. 安心できる関わりでしたか？
5. 安全に配慮されていましたか？
6. 他の職員と適切に情報が共有されていましたか？
7. ナースコールを押してから看護師が伺うまでの時間はいかがですか？
8. 言葉づかい、態度、身だしなみはいかがですか？



全項目において平均で0.2～0.6ポイント上昇している。

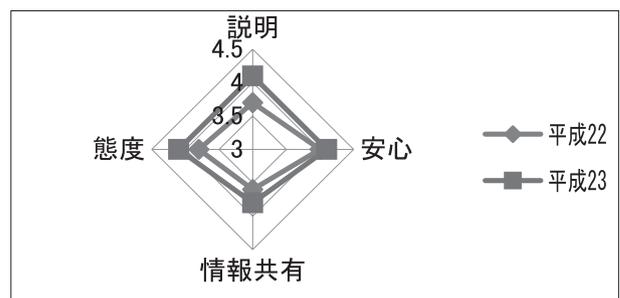


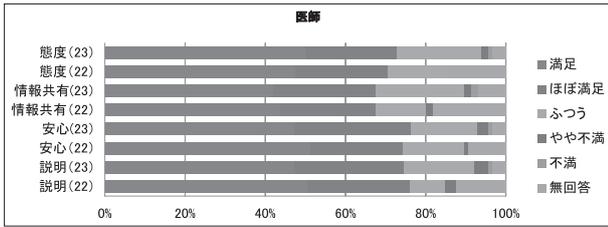
全項目で、満足と回答した者が増えている。しかし、不満・やや不満と回答した者も“処置の上手さ”で3.5% “情報の共有”で5.9% “ナースコール”で6.9% “態度”で2.6%増加している。

ナースコールに関しては、マンパワー不足もあり迅速な対応ができない現状もあると思われるが、対応した時の態度により印象が良くも悪くもなると思われる。したがって、すぐに対応できなかった時には謝罪することを心がける必要がある。

### V. 医師について

1. よくわかる説明をしてくれていますか？
2. 安心して医療を受けることができましたか？
3. 他の職員と適切に情報が共有されていましたか？
4. 言葉づかい、態度、身だしなみはいかがですか？

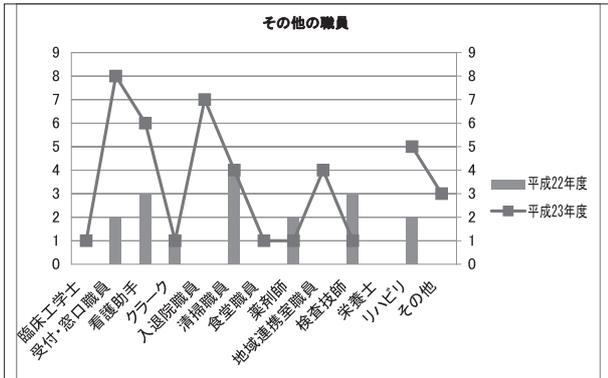




全項目において平均で0.1～0.4ポイント上昇している。全項目で、満足・ほぼ満足と回答した者は大きな変化はないが、不満・やや不満と回答した者が若干(1.5～2.6%)ではあるが増えている。

## VI. その他の職員について

言葉づかい、態度、身だしなみでできる職員



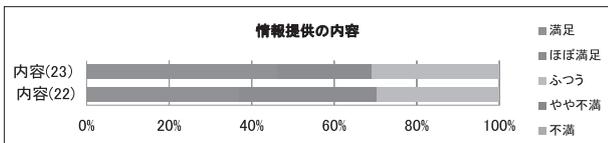
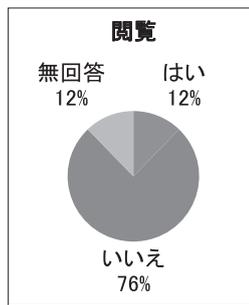
平成22年度より減少している職種は薬剤師と検査技師であった。その他は、栄養士を除いて増加している。特に、“受付・窓口職員”が2名から8名へ“入退院職員”0名から7名へ“地域連携室職員”0名から4名へ“リハビリ”が2名から5名と増加が多かった。その他は売店の職員であった。

## VII. ホームページについて

1. 当院のホームページをご覧になりましたか？

① 情報提供の内容は十分でしたか？

ホームページを閲覧したことがあると回答した者は、平成23年度で12% (14名) であった。平成22年度は、はい・いいえの回答を求めていなかったのが不明。情報提供の内容については、両年ともやや不満・不満と回答した者はいなかった。

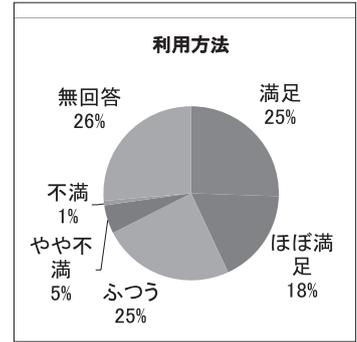


## VIII. 携帯電話について

1. 院内での携帯電話のご利用方法に、満足されてい

ますか？

やや不満・不満と回答した者は6%であった。無回答が26%と多いが、携帯電話を使用していない人も含まれると思う。不満の理由は、充電方法1名、使用可能な場所が1名であった。

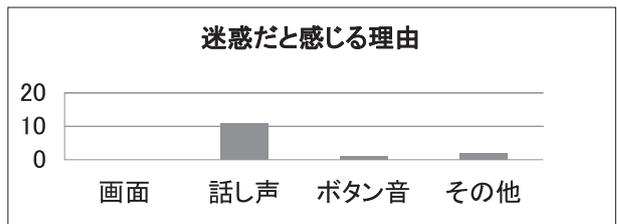
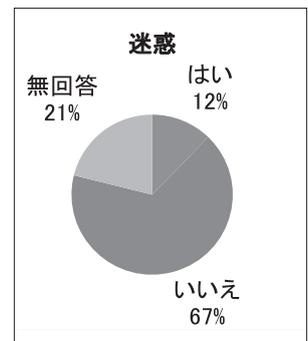


3. 他の方が携帯電話を使用している時に、迷惑だと感じたことがありますか？

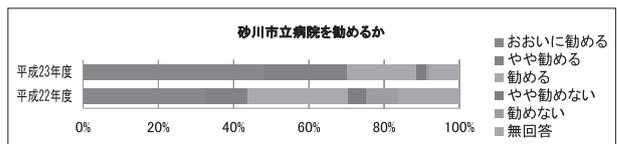
迷惑だと感じたことがあると回答した者は12%(14名)であった。

迷惑だと感じる理由は、話し声が11名で最も多く、ボタン音が1名であった。

その他は、“マナーモードに設定されていない病室内での使用”“病室内での会話の内容が気になる”であった。携帯電話については明確な規定がないため黙認している部分があり、不満と感じていないのではないと思われる。充電に対する課金や最低限の使用マナーなどの規定が必要だと思われる。



## IX. 同じ病気の方に砂川市立病院をおすすめいただけますか？



おおいに勧める・やや勧めるを合わせて、平成22年度より約26%増加している。

逆に、やや勧めない・勧めないを合わせて、平成22年度より約10%減少している。

## 統計

# 時間外勤務に関する意識調査 ～6階西病棟・7階西病棟・4階南病棟スタッフへのインタビューから～

The opinion poll to overtime work  
～Consideration of the results from interviews with ward staff～

田中 美和  
Miwa Tanaka

大嶋 守  
Mamoru Oosima

梶 富美恵  
Fumie Kaji

岡本 邦子  
Kuniko Okamoto

広田 恵子  
Keiko Hirota

## 要 旨

看護師は患者の入院生活を支援していく立場にあるが、その業務の中で患者の状態により、業務時間の延長が日常化していると感じていた。主任看護師は看護師職員が適切な時間外勤務が行われているかを把握しなければならない役割も担っている。今回、当院の時間外勤務の実態とスタッフの時間外勤務に対する意識調査を行った結果、①記録時間が軽減できるよう工夫する。また医師からの指示方法を調整する。②スタッフの意識改革と時間管理教育が必要である。③チームワーク強化のため、コーディネーターを育成する。④看護管理者が時間外勤務の指示を的確に行い、スタッフの時間外勤務を平均化する。⑤スタッフのメンタルヘルスケアが重要である。と5つのポイントが課題として挙げた。今後はこれらの対策を実行し、時間外勤務を短縮することで人件費軽減を目指し、更には看護師のストレス軽減にも繋げていくことができると考えた。

Key words : overtime work opinion interview time management stress

### 【はじめに】

看護師は専門職であり、患者の入院生活を支援していく立場にある。その中で患者の状態によっては業務時間が延長することもしばしばあり、それが日常化しているのが現状である。主任看護師は病院経営に参画しなければならない立場にあり、また看護師職員が適切な時間外勤務が行われているかを把握しなければならない役割も担っている。今回私達は当院の時間外勤務の実態とスタッフの時間外勤務に対する調査を診療科の違う3部署を対象に行うことで時間外勤務の現状を把握し、比較することから今後の課題を見出し、対策を実行していく必要があると考えたのでここに報告する。

### 【方法】

#### 1) 調査期間

平成23年9月20日～10月14日

#### 2) 方法

時間外勤務に関する質問内容は「時間外の勤務時間、時間外勤務の要因、時間外勤務に対する思い、対策、精

神的負担」など9項目の自作質問紙を作成する。

#### 3) 対象者

6階西病棟（外科）・7階西病棟（総合内科）・4階南病棟（精神神経科）の3部署（1部署10名ずつ）。担当の主任看護師が無作為に選出した看護師に対し、1人10分程度でインタビューを実施する。

#### 4) 倫理的配慮

この調査で得た内容は個人を特定するものではなく、個人情報外部に洩れることはないことと集計後は直ちに破棄する旨をインタビュー前に説明し、質問に答えた時点で同意を得たこととした。

### 【結果】

インタビューの対象スタッフの内訳は、6西が20歳代と30歳代が半数ずつを占め、7西は10名中8名が20歳代であった。4南は20～30歳代が7名、40、50、60歳も1名ずつと年齢差が大きかった。6西と7西は経験年数が6年以上の中堅看護師が6～7割を占め、4南は5年未満が4名、16年以上のベテラン看護師が半数を占め、新人看護師との経験差が大きく開いていた。

6西は未婚者が7名、既婚者が3名で、7西は未婚者が8名、既婚者でも子供がいる看護師は1名のみであった。4南は既婚者・子供ありが半数を占めた。

時間外勤務は3部署全スタッフが経験していた。この調査を行った期間が稼働率が高い時期であったことも影響していたが、6西は、ほぼ毎日時間外勤務が発生していた。(表1)

【表1】 <時間外勤務の有無> 単位：名

	ある	たまにある
6西	10	0
7西	4	6
4南	9	1

時間外勤務の要因の内訳としては3部署共に入院・記録が一番多く、次いでケア・処置、研修・会議が多くを占めた。入院は、入院時に関する記録物の種類が多く、6西は手術による同意書や検査データの確認、オリエンテーション、内服の整理など行うべきことは数多くあるが、処置やケアが優先されるため、記録物が後回しになっていた。インタビュー内容からも、急変や悩み相談など患者に直接関わることは仕方がないが、その他の業務が負担であるという意見が多く聞かれた。7西はICの同席および記録が8名で指示受けが4名であった。4南でも精神科は特殊性があり大勢で対応したり、抜き打ちの巡回などで時間がずれ込み、記録や処置が後回しになるため時間外が発生していた。(表2)

時間外勤務に対する思いとしては、3部署のほとんど

が早く帰りたいという回答で、研修や会議は強いストレスを訴えていた。7西は仕事だから仕方がないと諦めていた看護師が7名であった。また、4名は勤務終了時間が過ぎると、効率が落ちてきたり、先輩看護師よりも早く帰ることへ気兼ねや依頼しづらいと答えた。4南も仕事だから仕方がないが半数を占め、依頼しづらいが7名だった。(表3)

時間外に対する指導は入職時や配属後に上司から受けているが、ほとんどの看護師が時間外勤務をする際に上司から指示をされたことがないと答えた。

時間外に対する対策として挙げられたのは、6西は全てのスタッフが人員補充を挙げており、圧倒的に人員不足を感じていた。その他には業務改善や意識改革も必要だと答えた。7西は9名が医師の指示出し方法の調整と答えている。また、人員補充よりもチームワークの強化の方を重要視していた。4南は8名が業務改善、次いで人員補充、医師との調整、意識改革が6名ずつだった。(表4)

6西は時間外勤務による身体的疲労と精神的ストレスの両面を感じていた。7西はストレスは感じているが、それ程強いものではなく、自己のストレス解消法で解消できているので、身体的・精神的な面への影響はそれ程なかった。4南は精神科と特殊病棟であることも関係し、7名は疲れが取れない。5名はストレスが溜まると答えた。精神疾患の患者に対してのケアは危険と隣り合わせということもあり、スタッフのメンタルヘルスケアに対しても積極的な取り組みが行われていた。

【表2】 <時間外勤務の要因の内訳> 単位：名

	入院	IC	記録	検査 紹介	会議	研修	指示 受け	KOMI 計画	学習会	処置	看護 ケア	他科 受診	暴力 行為
6西	9	0	10	1	2	2	0	2	1	6	5	0	0
7西	8	8	6	5	5	5	4	2	2	1	0	0	0
4南	10	0	8	2	5	5	0	3	2	4	4	2	1

【表3】 <時間外勤務に対する思い> 単位：名

	早く 帰りたい	仕方が ない	記録が 残る	医師の 指示	苦では ない	手当ては 嬉しい	帰り づらい	効率低下	依頼 しづらい	雑用	断れない	協力が ない	他科が 遅い
6西	9	3	5	4	0	1	6	4	0	3	0	0	0
7西	10	7	7	5	5	5	4	4	4	1	1	0	0
4南	9	5	4	4	0	0	1	3	7	3	1	1	2

【表4】 <時間外勤務に対する対策> 単位：名

	医師の 指示出し	申し送り 廃止	チーム ワーク	環境整備	人員補充	管理者 指示	意識改革	部屋割り	業務改善	マニュアル
6西	2	1	0	0	10	0	2	0	6	0
7西	9	8	7	6	4	4	4	1	0	0
4南	6	2	3	4	6	3	6	0	8	3

## 【考察】

既婚者や子供がいる看護師は仕事と家庭の両立で、時間外勤務がより負担と感じ、全ての質問項目に影響を与えていた。

また、今回の調査で、看護師の時間外勤務は「時には」ではなく「頻繁に」常用化していることが明らかとなった。

中島<sup>1)</sup>は①「治療しなければならぬこと」、②「自分の能力でできること」、③「ケアとして患者にしたいこと」が三位一体になった時には、さほど時間外勤務も苦痛ではない。特に、この3つの中で③「ケアとして患者にしたいこと」ができる状況では、やり甲斐もあり、「業務」ではなく、「ケア」を展開できる喜びに、心地よい疲労感を覚える。すなわち充実感を感じる。と述べているが、今回の調査でも看護師としての本来の業務であるケアや処置は仕方がないが、それ以外の雑用は苦痛と感じ、ケア以外の「業務」をやらされている感が芽生えると疲弊感に繋がっていることが明らかとなった。また、看護師の業務は突発的なことが多いが、時間内に帰ることを目標として、早く帰れる喜びと開放感を感じる必要があると考える。しかし、早く業務が終わったとしても先輩看護師よりも早く帰ることへの気兼ねや次の勤務者へ指示受けや処置を依頼しづらいなどの職場風土や人間関係も大きく影響しているということがわかった。

本来であれば、時間外勤務の調整や許可は看護管理者が行うとされているが、実際は時間外勤務の発生時に管理者である師長や主任看護師がスタッフ個々の時間外勤務をきちんと把握して、適切に指示するという習慣ができていないことも今回の調査で明らかとなった。

人員補充も解決策の一つではあるが、単に忙しいからといって人員補充をすれば解決できるという意見もあったが、突発的な欠勤に対しても限られた人数の中で業務をこなせることが可能な中堅看護師が比較的多い部署は、業務を行う中で他者の動きを見ながらお互いをフォローし合うというチームワーク強化の方を重要視していることがわかった。また、自分なりのストレス解消法があるスタッフは身体的・精神的影響がさほど、なかったといえる。

今回、診療科の異なる3部署の看護師に対するインタビューを行った結果、今後の課題として5つのポイントが挙げられた。①記録に関する時間外勤務が大半を占めている為、効率的に記録でき、重複記録など、記録にかかる時間を減らす工夫を行っていく必要がある。業務内容の整理に関しては、医師からの指示受けによることが多くを占めているため、医師と時間や方法などを調整していく必要がある。②組織文化は職場風土とも関係するが、自分で考えるメンバーを増やすことが職場風土を改善す

る第1歩であることから、スタッフ一人一人の時間外勤務による意識改革と時間管理教育が必要と考える。③限られた人員でもチームワークが良ければ、時間内に業務を終えることは可能であり、そのためにはコーディネーターを育成することが今後の重要なポイントである。

④勤務終了間際の入院や指示受けなどがある場合には、時間外を強いられるが、帰りづらい雰囲気や依頼しづらい職場風土があるとしたら、看護管理者が指示を行うことでスタッフの時間外勤務を平均化できると考える。⑤看護師の仕事は専門職であり、やり甲斐もあるが、時間外勤務が続くことで身体的・精神的ストレスが蓄積され、最悪、離職へも繋がるおそれがあるので、日頃からスタッフとコミュニケーションを図るなど、メンタルヘルスケアが重要であると考えられる。

今後はこれらの対策を実行していき時間外勤務を短縮することで人件費を減らすことができ、更には看護師のストレス軽減にも繋げていくことができると考える。

## 【引用・参考文献】

- 1) 中島美津子他：総論「時間外勤務の発生要因とその対策」、看護：p42-63 2011・5